

いずみ会／旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報 い ず み 第57号

発行／いずみ会 編集／いずみ会広報部

〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-3-1 都立大泉高等学校内

事務所 東京都練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号

ホームページ <http://www.izumikai.com/> e-Mail izumikai@v7.com

主 な 記 事

2・3 執行部

4～9 母校関係

10～13 緑蔭

14～17 サークル・同期会

18 声・訃報

19～23 寄付者・会費納入者一覧

24 総会ご案内

再来年は名簿を発行したいと思います

いずみ会会長 高津 幸一



書棚の一隅にいずみ会名簿があると、何か楽しい、心なごんだ気持ちになりますか。思い出が次々に現れ、意欲が湧いてきませんか。名簿は帰属意識の象徴です。しかしあまり古いものでは単なる過去の記憶に浸るに止まってしまいます。

いずみ会は5年ないし10年毎に名簿を発行して参りました。最近のものが平成18年2月発行の「いずみ会創立60周年記念版」です。いずみ会規約でも「会員名簿の発行」は「総会の開催」、「会報の発行」と並んだ会の基本的な事業とされています。

何故次の名簿の発行準備にとりかかるのを躊躇してきたか。理由はいうまでもありません。個人情報保護思想をどこまで同窓会に貫徹させるかということにつきます。前回の名簿の作成にあたっては連絡可能な全会員に通知したうえで掲載を不可と返信された方を除き住所・電話番号を掲載させていただきました。今回もそれでいこうかどうか(返信しない方は掲載を可としたものとして扱うことの妥当性)、返信の中で掲載不可申出が異常に多かったらどうしようかと思悩みました。過

去数年にわたり理事会では何度もこの議論を繰り返しました。

思い切って掲載を可と明示していただいた方のみの名簿を作るとの考えも有力です(それ以外の方は氏名のみを纏めて掲載)。そこまで徹底しないまでも掲載を可とされる方には住所・電話番号のほかに、かつての名簿にありました職業・勤務先欄の復活をしたいと思います。さらには大学欄も復活させるか、その他の情報にかかる欄を設けるか、ということも検討して参ります。

掲載を可とする返信を重視するという企画は実に勇猛果敢なものです。連帯意識の強さが問われます。正会員2万3千、住所把握会員1万6千の方々のうちどれだけの方から掲載を可とするお返事を頂けるのでしょうか。1万名到達が夢です。

再来年はいずみ会創立70周年にあたります。これを機に新しい名簿を発行したいと思います。掲載についての正式の御照会は来年になりますが、皆様揃って(特別の事情ある方を除き)掲載を積極的に可とするお返事を頂けるよう今から友人同士で話し合ってください。既存の情報に寄りかかった名簿でなく、全会員が意識的に作る名簿の完成に向けて進もうではありませんか。

来年は役員改選の年です

いずみ会選挙管理責任者 片山 隆

現在の役員は、平成25年度末をもって任期満了となります。役員(任期2年)はいずみ会発展のため、理事会等の会合に出席し、事業を検討し、実行します。

役員候補者には、現在、各期から選出された評議員をされている方、同期の方から推薦を受けている方が望ましく、また特に若い期の方からの立候補・推薦をよろしく願いいたします。選挙要綱は次の通りです。

1. 次期いずみ会役員の選任は来年度定時評議員会(平成26年5・6月中)において行います。
2. 各役員選挙に対する立候補並びに推薦届の受付期間は、平成25年10月1日から平成26年1月31日迄です。
3. 立候補届・推薦届は下記の事項を明記して、第5項記載の送付先に郵送またはe-Mail(Word等で作成し添付する)・FAXで送信してください(記載漏れがあると、無効

となる場合がありますので、ご注意願います)。

4. 届の受理確認は、平成26年2月中旬に連絡いたします。

5. 送付先: 〒167-0043 杉並区上荻2-29-13-502

いずみ会選挙管理責任者 片山 隆

FAX: 03-3392-1568 e-Mail: kata02_yama06@yahoo.co.jp

《届出に明記する事項》

- ① 立候補または推薦する役職名(会長、副会長、理事、監査役)
- ② 立候補者または被推薦者ご本人の氏名・期・住所・電話番号・メールアドレス
- ③ 推薦届の場合は、推薦人の氏名・期・住所・電話番号・メールアドレス
- ④ 立候補または推薦の理由(200字以内)

なお、選挙に関するご相談、ご質問は上記送付先の片山隆(いずみ会副会長)までお気軽にお申し出下さい。

本年度

いずみ会総会・懇親会(於 母校視聴覚ホール・1階食堂)
平成25年10月27日(日)午後12時30分より受付開始(詳細は24頁をご覧ください)

定時評議員会報告

総務・企画部長 荒井 眞理子

例年より2週間ほど早い梅雨入り宣言が出された平成25年5月25日(土)に、いずみ会平成25年度定時評議員会が母校1階会議室にて開催されました。母校からはお忙しい公務を縫って、菊地芳男校長、北江繁治副校長、PTAからは荒幡久美子顧問、伊藤裕司副会長にご出席いただきました。全員で校歌斉唱の後、小林憲一理事より評議員会成立の報告があり(定足数212名：午後13:30現在出席者数76名、委任状提出者247名の計323名)、高津会長からはいずみ会の諸活動を通して今後とも各会員の能力活性化、安定した精神の維持、風格ある行動を期待し、また、評議員が全会員を正式に代表するという基本が守れるように協力と努力をお願いするというお話がありました。菊地校長からは、グランドの11月の完成、中学1期生が高校1年生に入学したこと、学力もそうですが、人間的にも成長してお互いを信頼して物事に臨む姿勢などが培われてきている様子が紹介されました。挨拶の後、議長に大澤登評議員(高5期)を選出して審議が開始されました。

平成24年度 いずみ会事業報告

いずみ会は規約に沿って、平成24年度に次の事業を実施した。

第1. 総会開催

平成24年11月18日(日)、母校・新校舎食堂にて開催した。

183名の会員が集い、前半はいずみ会の活動や母校関連事項の報告、後半は「2の会」の企画運営による懇親会を行った。

第2. 会報発行及び広報活動

1. 会報いずみ第56号を平成24年10月1日に発行した。主たる記事は次の通り

- ・平成23年度評議員会報告
- ・事業報告・決算報告、平成24年度事業計画・予算・新役員紹介
- ・部活動報告(水泳部、野球部、女子バスケ部、トボール部、中学バドミントン部、吹奏楽部等)
- ・19期 高井潔司さん 母校講演会報告、平成23年度社会人講話報告
- ・母校英語講座報告、サークル活動報告、新校舎紙上見学ツアー、会員の集い
- ・部活動OB会、同期会報告等

2. ホームページ リニューアル

・平成25年2月25日に懸案であったCMS化を実現した新ホームページに切り替えた。

・部門毎に担当者及び担当ページを定め、コンテンツの充実、タイムリーな情報提供をめざし運用を開始した。

第3. 会員情報の整備

1. 会員情報の整備に向け、各期会員情報部幹事の確認と積極的な会員情報活動を促した。
2. 会員情報部幹事不在の期へのはたらきかけを行い、部分的には成果が得られたが、まだ不在の期が残っており来年度以降への継続課題とした。
3. 「高校65期の名簿」を作成、配布した。

第4. 将来に向けての運営強化

規約、収入の仕組みなどを現状にあわせて、再構築するための検討を継続していく。

来年度以降への継続課題とするが、一番大きなテーマは財務体質強化等である。

第5. 母校との連携

1. 母校の発展に寄与するため、中学生への英語教育、高校生への社会人講話その他の学校の諸活動や、母校の部活動への支援を積極的にし、母校との理解、協力を得た。

平成24年9月開催の母校文化祭で「2の会」の協力を得て、いずみ会のPRを図った。

平成25年3月「いずみ会入会式」を開催し、65期199名が入会した。

2. 平成24年10月27日開催の母校の70周年・新校舎竣工記念祝賀会に、PTAと連絡を密にし会場選定、運営等を支援した。

祝賀会は光が丘 ホテル カデンツアで開催した。学校、PTA、いずみ会の関係者約200名が参加し高校57期宇賀なつみさんの司会で始ま

り、祝賀会実行委員長 高津いずみ会会長の開会挨拶に続き、卒業生を代表し中学1期の春日孟さん及び旧教職員を代表し元校長の藤井文雄さんより祝辞があった。

3. 母校70周年記念に、母校・中庭の50周年記念植樹の桜を、記念植樹したが、昨夏の猛暑の中、生育が思わしくなかった為、代替の桜を植樹した。

4. 母校との相談の下、4月より母校・資料室(実質いずみ会管理)の整備と運営を行った。

第2号議案の平成25年度事業計画、予算承認の件が諮られ、それぞれに青木事務局長、山口会計部長より報告がありました。事業関連では会報に続き、ホームページにも広告を掲載する準備を進めること、2年後の同窓会70周年に向けて実行委員会準備委員会を立ち上げ、準備にかかること、他校の現状や解決方法を参考に規約や収入の仕組みについて引き続き検討を続けていくこと

り、祝賀会実行委員長 高津いずみ会会長の開会挨拶に続き、卒業生を代表し中学1期の春日孟さん及び旧教職員を代表し元校長の藤井文雄さんより祝辞があった。

3. 母校70周年記念に、母校・中庭の50周年記念植樹の桜を、記念植樹したが、昨夏の猛暑の中、生育が思わしくなかった為、代替の桜を植樹した。

4. 母校との相談の下、4月より母校・資料室(実質いずみ会管理)の整備と運営を行った。

第6. 人材バンク

1. 積極的な人材の発掘と登録、活用を行った。英語教育や社会人講話では成果が得られている。更なる活性化が今後の課題として残された。

2. 活性化のベースであるサークル活動へ、積極的に支援を行った。

・日本古典文学講座

毎月第四木曜日に「いずみ会室」にて開催。

・英語教室

毎月第三火曜日に「いずみ会室」にて開催。

・茶の湯

毎月第二、第四木曜日に「樺さん」にて開催。

・囲碁同好会

毎月第三水曜日に「いずみ会室」にて開催。

・健康麻雀教室

毎月第一、第三火曜日に「いずみ会室」にて開催。

・レディース専科は毎月第二、第四木曜日に「いずみ会室」にて開催。

・まんぽ会

4月6本木、愛宕山界隈の桜見物、5月岩淵水門・荒川下り、7月美ヶ原(2泊3日)、9月空自入間基地見学、11月代々木公園とオペラシティ、1月羽田JAL機体工場見学

第7. 財政管理

1. 会費納入率の向上対策、寄付金の増加、広告の増加を今年度の課題とした。

広告については前年を上回る成果が得られたが会費納入率については課題を残した。また入会金に関する規則を理事会で審議し改訂案を策定した。

2. 母校支援金について会計処理を明確にし、いずみ会の長期的財務課題を把握する為、次年度より一般会計に組み入れることにした。

第8. 評議員会の開催

いずみ会の最高議決機関である評議員会を平成24年5月26日(土)に母校視聴覚ホールで開催し、事業報告、事業計画案の承認、新役員選出等を議決した。

第9. 同窓会の輪

情報交換を目的に石神井高校を中心に近隣の都立高校同窓会が数年前より交流していたが、昨年10月に規約を定め都立高校同窓会連絡協議会として組織化した。会長は豊多摩、事務局長は石神井が担当。大泉は井草、立川、戸山、新宿、武蔵丘、

一商とともに幹事校として活動した。

第10. その他

1. 理事会の開催
2. 監査会の開催

3. 各期評議員の登録更新

4. 役員改選準備

平成25年度 いずみ会事業計画(案)

いずみ会は規約に沿って、平成25年度に次の事業を実施する。

第1. 総会開催

平成25年10月27日(日) 母校にて開催を予定している。

第2. 会報の発行・広報活動の充実

1. 会報いずみ第57号を平成25年10月に発行予定とし、主たる記事は以下の通り
- ・事業報告・決算報告、事業計画・事業予算、行事報告、母校創立70周年式典 等

2. ホームページ

・平成24年度のCMS化版をベースに、広告掲載を図る

・大泉高校新聞バックナンバーの電子版公開を予定している。

第3. 会員情報の整備

1. 会員情報整備に向けて、各期会員情報部幹事確認と積極的な会員情報活動を促す。特に会員情報部幹事不在期に対する働きかけを継続していく。
2. 「高校66期の名簿」を作成、配布する。
3. 名簿発行について問題点、課題を検討、整理していく。

第4. 将来に向けての運営強化

1. 規約、収入の仕組み等を再構築するための検討を継続する。
2. 部活動の課題認識、若手との交流を図るため、部活動OB会との連携を図る。
3. 若手会員との交流の機会拡大を検討していく。

第5. 母校及びPTAとの連携

1. 母校PTAと協力して母校支援を強化し母校の発展を図る。
2. 母校支援金の用途を母校と相談して効果的活

用を図る。

3. 母校の発展に寄与するため社会人講話、英語教育、部活動支援等を行う。

4. PTAとの連携を強化して保護者に対していずみ会への理解を求めていく。

5. 文化祭、ホームルーム、入会式等を通して、中学生を含めた在校生に対していずみ会への理解を求めていく。

第6. 人材バンクの活性化

1. 積極的な人材発掘、登録及び活用場の拡大を推進する。
2. 活性化のベースであるサークル活動へ、積極的支援を行う。

第7. 財政管理

1. 当面、会費納入率向上、入会金納入率向上及び広告収入増加を図る。
2. 幅広い母校支援を長期的に継続していくためには、現在の別途積立金等の剰余金のみでは財務的には厳しい状況にある。既に取組を始めていたにいたる期があるが70歳以上の同期会をはじめさまざまな機会を捉えて寄付金を依頼していく。

3. 財政改善の抜本対策を検討していく。

第8. 評議員会

定時評議員会を平成25年5月25日(土)に開催する。評議員登録方法について各期の現状を把握し評議員登録推進を図る。

第9. いずみ会70周年記念事業

平成27年にいずみ会創立70周年を迎えるにあたり実行委員会を立ち上げる。

第10. その他

1. 理事会開催
2. 監査会開催
3. 各期評議員登録更新
4. 役員改選準備

◇評議員会出席者一覧◇

須賀功・永川俊彦・藤井宏・鈴木孝(中3期) 加羽澤暉幸・静谷哲治・橋本宏・比嘉高(高4期) 青山喜彦・石田要久・大澤登・植田敏正・尾崎雄三・川津邦雄・松岡五郎(高5期) 有田二郎・今村邦夫・鴨田博伸・遠畑啓・豊嶋志朗・村井和郎(高6期) 野口純正・片山隆・小坂飯満邦・二宮靖子・宇田川公子・岡崎美代子(高8期) 須藤一彦・清水信・石村進・大軒史子(高9期) 井上康子・羽根田千賀子・野口悦子・田島寛・藤田肇・小川皓司・鈴木京子・前川慎男(高10期) 富田順子(高11期) 一条統一・関根有子(高12期) 丸山和郎・早川淳・山本章義・高野尚志・田中昇次・豊田菟美・小松富貴子・国澤栄子・市川敬二・大高光蔵・笠原孝之・高津幸一(高13期) 増岡建吾・飯沢武・田村誠・高木茂彦子・國谷俊之・三原寿太郎(高14期) 村上広(高15期) 大場修一・木村亜紗子(高16期) 中津限憲一・森脇玲子・成田俊彦(高17期) 石田智秀・別所信子・板谷文木・宮田健治・青木隆・豊田哲也・安斉秀行・鈴木裕一・鈴木三枝子(高18期) 田村明子・小山雅文・遠藤幸子・内田彰(高19期) 荒井眞理子・中川恵・川口章子・小林憲一・山口達夫・進見元子(高20期) 肥沼年光・花澤亮司(高22期) 山川新(高24期) 宇多正行・吉田寛・植松一幸・高久鉄雄・上田佳代子・木村了・佐藤敏之(高25期) 大久保靖・齋藤俊夫(高29期) 原寿幸(高31期) 榎方隆一・鎌田政信・小倉扶美子・小泉成実(高32期) 伊藤勲(高40期) 西敬敏(高53期) 須藤孝夫(高60期) 榎原卓人・寺島孝(一般会員)

平成24年度 収支決算 (自平成24年4月1日～至平成25年3月31日)

(収入の部)				単位：円
科 目	平成24年度予算	平成24年度実績 (A)	予算過不足 ((A) - 予算)	備 考
入会金	815,000	835,000	20,000	
前受金戻入	765,000	765,000	0	
当期入金分	50,000	70,000	20,000	
会費	2,585,000	2,501,000	△ 84,000	
前受金戻入	2,085,000	2,085,000	0	
当期入金分	500,000	416,000	△ 84,000	
寄付金	1,000,000	956,200	△ 43,800	
総会参加費	660,000	549,000	△ 111,000	183名参加
名簿関係収入	90,000	120,000	30,000	
名簿売上	90,000	120,000	30,000	
広告収入	450,000	480,000	30,000	
雑収入	60,000	77,449	17,449	受取利息、カンパ金
合 計	5,660,000	5,518,649	△ 141,351	
前受金	3,100,000	2,594,000	△ 506,000	
入会金	700,000	460,000	△ 240,000	92名/199名(46%)
会費	2,400,000	2,134,000	△ 266,000	
前期繰越金	5,847,613	5,847,613	0	
総合計	14,607,613	13,960,262	△ 647,351	
(支出の部)				単位：円
科 目	平成24年度予算	平成24年度実績 (A)	予算残 (予算 - (A))	備 考
総会関連費	800,000	696,560	103,440	
役員・評議員会合費	410,000	342,103	67,897	
監査役会費	10,000	7,626	2,374	
広報費	3,020,000	2,801,257	218,743	
会費関連費	100,000	80,200	19,800	
会員情報関連費	70,000	71,712	△ 1,712	
母校連絡費	120,000	102,315	17,685	文化祭、いずみ会文庫
会員活性費	100,000	60,655	39,345	サークル活動、同期会開催支援
消耗品費	20,000	12,522	7,478	
什器備品等	0	0	0	
いずみ会室関連費	800,000	760,681	39,319	いずみ会室家賃、光熱費他
名簿積立金繰入	0	0	0	
業務委託費	0	0	0	
雑費	30,000	7,924	22,076	
予備費	500,000	420,420	79,580	ホームページ作成(CMS化)
合 計	5,980,000	5,363,975	616,025	
(収支の部)				単位：円
項 目	平成24年度予算	平成24年度実績	備 考	
当期収入	5,660,000	5,518,649		
当期支出	5,980,000	5,363,975		
当期収支残	△ 320,000	154,674		
前期繰越金	5,847,613	5,847,613		
期末剰余金	5,527,613	6,002,287		

母校支援活動準備金収支

		単位：円
(収入の部)		
科 目	実 績	
前期繰越金	667,878	
別途積立金より	1,332,122	
計	2,000,000	
(支出の部)		
科 目	実 績	
枝垂桜子孫保存残金	128,735	
母校講演会雑費	4,400	
英語特別授業講師料24名分、雑費	102,905	
母校70周年記念事業費	988,977	
卒業生へ記念品	66,320	
卒業生皆勤賞図書カード (@ 3,000 x 23名)、封筒	69,420	
キャリア教育雑費	32,551	
計	1,393,308	
収支残	606,692	

貸借対照表 (平成25年3月31日現在)

(資 産)				(負 債)			
科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減	科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減
定期預金	25,000,000	25,000,000	0	前受入金金	765,000	460,000	△ 305,000
				前受会費	12,768,000	12,817,000	49,000
普通預金	10,215,516	7,883,475	△ 2,332,041	名簿積立金	2,266,008	2,266,008	0
				負債合計	15,799,008	15,543,008	△ 256,000
振替口座	132,791	996,171	863,380	正味財産			
				別途積立金	13,118,960	11,786,838	△ 1,332,122
現 金	85,152	59,179	△ 25,973	母校支援活動準備金	667,878	606,692	△ 61,186
				期末剰余金	5,847,613	6,002,287	154,674
				正味財産計	19,634,451	18,395,817	△ 1,238,634
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634
(資 産)				(負 債)			
科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減	科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減
定期預金	25,000,000	25,000,000	0	前受入金金	765,000	460,000	△ 305,000
普通預金	10,215,516	7,883,475	△ 2,332,041	前受会費	12,768,000	12,817,000	49,000
振替口座	132,791	996,171	863,380	名簿積立金	2,266,008	2,266,008	0
現 金	85,152	59,179	△ 25,973	負債合計	15,799,008	15,543,008	△ 256,000
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	正味財産			
				別途積立金	13,118,960	11,786,838	△ 1,332,122
				母校支援活動準備金	667,878	606,692	△ 61,186
				期末剰余金	5,847,613	6,002,287	154,674
				正味財産計	19,634,451	18,395,817	△ 1,238,634
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634
(資 産)				(負 債)			
科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減	科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減
定期預金	25,000,000	25,000,000	0	前受入金金	765,000	460,000	△ 305,000
普通預金	10,215,516	7,883,475	△ 2,332,041	前受会費	12,768,000	12,817,000	49,000
振替口座	132,791	996,171	863,380	名簿積立金	2,266,008	2,266,008	0
現 金	85,152	59,179	△ 25,973	負債合計	15,799,008	15,543,008	△ 256,000
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	正味財産			
				別途積立金	13,118,960	11,786,838	△ 1,332,122
				母校支援活動準備金	667,878	606,692	△ 61,186
				期末剰余金	5,847,613	6,002,287	154,674
				正味財産計	19,634,451	18,395,817	△ 1,238,634
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634
(資 産)				(負 債)			
科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減	科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減
定期預金	25,000,000	25,000,000	0	前受入金金	765,000	460,000	△ 305,000
普通預金	10,215,516	7,883,475	△ 2,332,041	前受会費	12,768,000	12,817,000	49,000
振替口座	132,791	996,171	863,380	名簿積立金	2,266,008	2,266,008	0
現 金	85,152	59,179	△ 25,973	負債合計	15,799,008	15,543,008	△ 256,000
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	正味財産			
				別途積立金	13,118,960	11,786,838	△ 1,332,122
				母校支援活動準備金	667,878	606,692	△ 61,186
				期末剰余金	5,847,613	6,002,287	154,674
				正味財産計	19,634,451	18,395,817	△ 1,238,634
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634

(資 産)				(負 債)			
科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減	科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減
定期預金	25,000,000	25,000,000	0	前受入金金	765,000	460,000	△ 305,000
普通預金	10,215,516	7,883,475	△ 2,332,041	前受会費	12,768,000	12,817,000	49,000
振替口座	132,791	996,171	863,380	名簿積立金	2,266,008	2,266,008	0
現 金	85,152	59,179	△ 25,973	負債合計	15,799,008	15,543,008	△ 256,000
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	正味財産			
				別途積立金	13,118,960	11,786,838	△ 1,332,122
				母校支援活動準備金	667,878	606,692	△ 61,186
				期末剰余金	5,847,613	6,002,287	154,674
				正味財産計	19,634,451	18,395,817	△ 1,238,634
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634

(資 産)				(負 債)			
科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減	科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減
定期預金	25,000,000	25,000,000	0	前受入金金	765,000	460,000	△ 305,000
普通預金	10,215,516	7,883,475	△ 2,332,041	前受会費	12,768,000	12,817,000	49,000
振替口座	132,791	996,171	863,380	名簿積立金	2,266,008	2,266,008	0
現 金	85,152	59,179	△ 25,973	負債合計	15,799,008	15,543,008	△ 256,000
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	正味財産			
				別途積立金	13,118,960	11,786,838	△ 1,332,122
				母校支援活動準備金	667,878	606,692	△ 61,186
				期末剰余金	5,847,613	6,002,287	154,674
				正味財産計	19,634,451	18,395,817	△ 1,238,634
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634

(資 産)				(負 債)			
科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減	科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減
定期預金	25,000,000	25,000,000	0	前受入金金	765,000	460,000	△ 305,000
普通預金	10,215,516	7,883,475	△ 2,332,041	前受会費	12,768,000	12,817,000	49,000
振替口座	132,791	996,171	863,380	名簿積立金	2,266,008	2,266,008	0
現 金	85,152	59,179	△ 25,973	負債合計	15,799,008	15,543,008	△ 256,000
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	正味財産			
				別途積立金	13,118,960	11,786,838	△ 1,332,122
				母校支援活動準備金	667,878	606,692	△ 61,186
				期末剰余金	5,847,613	6,002,287	154,674
				正味財産計	19,634,451	18,395,817	△ 1,238,634
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634

(資 産)				(負 債)			
科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減	科 目	2012.3.31現在	2013.3.31現在	増減
定期預金	25,000,000	25,000,000	0	前受入金金	765,000	460,000	△ 305,000
普通預金	10,215,516	7,883,475	△ 2,332,041	前受会費	12,768,000	12,817,000	49,000
振替口座	132,791	996,171	863,380	名簿積立金	2,266,008	2,266,008	0
現 金	85,152	59,179	△ 25,973	負債合計	15,799,008	15,543,008	△ 256,000
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	正味財産			
				別途積立金	13,118,960	11,786,838	△ 1,332,122
				母校支援活動準備金	667,878	606,692	△ 61,186
				期末剰余金	5,847,613	6,002,287	154,674
				正味財産計	19,634,451	18,395,817	△ 1,238,634
合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634	合 計	35,433,459	33,938,825	△ 1,494,634

預金残高	定期預金	普通預金	振替口座	(注)前受会費詳細	
三井住友武蔵野	25,000,000	5,945,215		前年度残	12,768,000
ゆうちょ銀行			996,171	今年度繰入	△ 2,085,000
みずほ飯能		1,938,260		今年度入金	2,134,000
合 計	25,000,000	7,883,475	996,171	差引残	12,817,000

母校の近況 (校長 菊地 芳男)

いずみ会の皆様には、日頃から本校の教育活動につきまして、ご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。

さて、工事が遅滞しておりましたグラウンド工事業者が決定し、現在工事が進んでおります。順調にいけば11月末に完成します。生徒には、早く本校のグラウンドで体育や部活動を行ってみたいと考えております。なお、グラウンド工事完成後は、テニスコートの工事及び学校周囲の外構工事が行われる予定です。

本校の今年度のニュースとしては、西東京大会で硬式野球部が5回戦まで勝ち進み多くのOB・OGの方々にも暑やかな野球場まで足を運んでいただき応援をしていただきました。

有難うございました。

また、昨年の70周年記念式典並びに新校舎落成記念式典、祝賀会は、皆様のご協力により盛会に実施することが出来ました。これからも、より一層教育活動を充実させ、良き歴史を創って参りたいと考えています。

いずみ会の皆様とは、密に連携をとらせていただいておりますが、今年度も様々な教育活動にご支援いただき大変感謝をしております。7月下旬には、今年度も行われた中学生対象の英語集中会話講座の講師派遣や、来春高校生を対象に行われるキャリア教室の社会人講師の派遣など快くお引き受けいただき、この場を借りてお礼申し上げます。こうした機会が、生徒にとっていずみ会の存在を身近に感じ、親しみを感ずる良い機会にもなっています。これから後輩に良きアドバイスをしていただければ幸いです。

いずみ会のますますのご発展を祈念しています。

球場を埋める大応援団



「ベスト16」頑張りました！

硬式野球部は、平成25年 第95回全国高等学校野球選手権大会 西東京大会で5回戦まで進出しました。

5回戦は7月21日曜日、市営立川球場で相手は強豪の創価でした。試合は5回まで互いに点を取らせない投手戦、終わってみれば0-2で惜敗。体格が一回り大きい強豪相手に良く戦ったと思います。試合では負けたものの、応援では相手を量・熱意で圧倒し、完勝でした。日曜日という

こともあり、父兄、OBが市営立川球場につめかけ、大泉を応援している観客は超満員の球場の2/3を占めていました。

大健闘だった選手のみなさん、それを指導して頂いた監督・コーチのみなさん、チャンスにはお祭り騒ぎで盛り上げる応援団のみなさん、音楽で選手を鼓舞する吹奏楽部のみなさん、献身的に選手をバックアップしていた野球部保護者のみなさん、夢をありがとうございました。

いずみ会では、運動場のない環境でも工夫をして頑張った野球部に公式球5ダースを贈呈しました。

進路状況 (浪人生を含む)

「国公立大学」

北海道2、東北1、福島1、群馬(医)1、埼玉1、千葉1、東京医科歯科1、東京外国語2、東京工業1、東京学芸1、東京芸術1、東京農工4、電気通信3、横浜国立2、大阪1、高知2、国際教養1、茨城県立1、首都大学東京6、香川県立医療保険1

「私立大学」

青山学院16、学習院7、北里3、慶應義塾6、駒澤12、芝浦工業14、上智15、成蹊12、成城5、専修13、中央36、津田塾3、東京女子7、東京電機8、東京農業12、東京理科17、東洋42、独協5、日本45、日本女子2、文教5、法政42、武蔵16、東京都市2、明治60、明治学院6、明治薬科4、立教48、早稲田31



試合前心を一つにする選手達

教職員人事異動 (敬称略)

「転出・高校」			()内は転出先等
副校長	大島 良		(青山高校)
国 語	平林 寿郎		(上水高校)
政 経	福崎 勇二		(新宿高校)
世界史	林 利雄		(退職)
数 学	三井 千宏		(退職)
保・体	山下 章		(退職)
情 報	山後 幸億		(南葛飾高校)
英 語	岡部 哲也		(立川高校)
英 語	佐藤 実		(三田高校)
英 語	中西 美之		(神代高校)
英 語	木之下 敬		(立川国際中等教育学校)
養 護	青木 佐知子		(白鷗高校)
家庭科	櫻井 彩美		
「転出・附属中学」			
数 学	鈴木 篤司		(目黒高校)
理 科	渡部 曜		(退職・短期再任用大泉附属中)
英 語	西田 三美子		(武蔵野市立第六中)
養 護	加藤木みの里		(農業高校)
理 科	松谷 剛		
「転出・職員」			
阿部 真利子	(東留米総合高校)		
佐藤 貴俊	(鷺宮高校)		
中村 崇	(杉並工業高校)		
小谷 亮太	(練馬特別支援学校)		
杉本 浩章	(練馬区立石神井中)		
中尾 文代	(退職)		
「転入・高校」			
副校長	北江 繁治		(大島海洋国際高校)
国 語	丹野 潤		(高島高校)
国 語	若菜 勉		(竹早高校)
政 経	橋場 雄希		(新規採用)
世界史	高橋 剛		(松が谷高校)
倫 理	岩本 晋也		(新規採用)
数 学	松本 崇		(八王子市立第七中)
物 理	林 和也		(科学技術高校)
保・体	青木 亮		(新規採用)
英 語	神家満 ゆい		(葛飾商業高校)
英 語	坪坂 成生		(上水高校)
英 語	滝石 有紀		(練馬高校)
英 語	太田 みどり		(東村山西高校)
養 護	石原 恵子		(東村山西高校)
家庭科	石倉 栄子		(葛飾特別支援学校)
「転入・附属中学」			
数 学	矢野 忠夫		(府中高校)
理 科	渡部 曜		
英 語	針谷 彩花		(新規採用)
養 護	松本 志江		(小平西高校)
理 科	宮川 一		(清瀬二中)
「転入・職員」			
森 篤史	(教育庁)		
綾川 紗代子	(主税局)		
渡辺 敬子	(杉並工業高校)		
田中 良子			
仲内 淑恵			
天竺柱建央	(石神井特別支援学校)		

でしたので、この思いは強いです。私自身が高校生だった頃の大泉の印象は、34群3校のうち「勉強の大泉」、以下は聞いた話ですがプールがないので水泳の時間がない、修学旅行がない、といったことです。着任した今、この印象は一変しました。中高一貫教育校として、ますます勉強に力点をおき、新校舎で立派なプールがあり、沖縄でのホームルーム合宿があります。さらに、来年度の海外修学旅行に向けて準備を進めているところです。修学旅行だけでなく、大泉のために頑張ります。今後とも、いずみ会の皆様には、本校へのご理解とご協力をお願いします。

山下 章

3月の終わりに挨拶もせず大泉からいなくなったこと、ごめんなさい。私は今、吉祥寺にある、藤村女子中学・高等学校で勤務しています。学校へは、教員生活で初めて定期を持ち、バスで通勤しています。今までは自転車を通える範囲の学校でしたので、とても新鮮に、楽しく通勤しています。

さて、大泉は、他から見ればとても良い学校です。施設面・生徒・教員・保護者そして卒業生、何をとっても素晴らしいものが満ち溢れています。中にいると、いろいろと不満が出てきますが、無い物ねだりはせずに、現在ある物をいかに有効に使えるかを考えることが必要だと思います。大泉の良いところをしっかりと受け継ぎ、伸ばしていきましょう。

「大泉の良さはなんでしょう」一番に、自分で考え、自主的に正しく行動できる生徒が多いことです。進路に関しても、部活動に関しても。今、先生たちが危惧しているのはこのような生徒が減りつつあることではないでしょうか。ここは生徒が踏ん張って、自立できる生徒に育つことではないでしょうか。大人の力を借りないで、自分自身あるいは、生徒同士で育て合うことが大切です。頑張りましょう。

鹿子木 由紀夫

大泉高校を去り早3年目になります。管理職になった当初は、授業をしない教員とは一体何なのだろう、と自問自答することもありました。しかし、若い先生方を育て、学校の将来ビジョンを描き、先生方の力を引き出しながら、それを実現させていく醍醐味を感じ、充実した毎日を送っています。生徒たちとの距離が開くことは私には耐えられないので、吹奏楽部の準レギュラーとして、様々な演奏に加わり一緒に楽器を吹いています。部員からは時々「先輩!」と呼ばれ、いい気になったりもしています。

大泉高校で関わったクラスや剣道部、天文部、応援団などの教え子たちは今でも時折、電話やメールで連絡をくれます。仲間を大切にしている大泉生の心優しさを感じます。

大泉高校の生徒たちは、しっかりとした自分の考えを持ちつつも、仲間の意見を尊重し、協働して一つのものを作り上げていく優しさやダイナミックさ、器量を兼ね備えていました。大泉生気質は「仲間を大切に、努力を惜しまず、力を合わせて困難に立ち向かう心意気」だと思います。皆さんのますますの大活躍を祈ります。

平成25年度の主な学校行事

4月9日	入学式
5月9日	体育祭
9月14日～15日	文化祭
1月14日～17日	HR合宿
3月13日	いずみ会入会式
3月14日	卒業式

恩師近況

大泉高校副校長 北江 繁治

「はじめまして」

いずみ会の皆様、平成25年4月1日に着任しました北江繁治(きたえしげはる)と申します。生まれは荻窪病院、育ちは大泉学園で今回の異動で「帰ってきたな」というのが素直な感想です。大げさかもしれませんが、3年間の大島海洋国際高校勤務は単身赴任



母校創立70周年・新校舎落成



記念式典



江戸消防記念会第十区九番組による木遣り



記念式典・吹奏楽部の演奏



会場風景



記念式典・合唱班によるコーラス



応援団OB によるエール



大泉高校特製ラベルのお酒(天寿)



挨拶する会長

司会の宇賀なつみさん
(高57期、テレビ朝日アナウンサー)

中学2年生 夏季英語特別講座

日曜日なのに学校か…って思ったけれど

感想

☆ When will you start to? It's just now. ★ 一人ひとり細かく話し方などアドバイスしてくださり、勉強になった。言ってみると意外と伝わるんだな。☆ 英語の歌をいろいろ聴いてみたいと思った。★ 映画を英語字幕付きで見たい。たくさん話せて楽しかった！☆ 海外で値切ってみようと思う。★ 水が欲しいときどうする？って言われた時、難しいと思ったけれど「いいんじゃない！」と言われて嬉しかった。☆ 英語の表現は完璧にできていなくても伝わる、理解できるということが分かった。ぜひトライしてみよう。★ 英語が苦手な人でも話せるようになる。ちょっと可能性を感じた。☆ 自己紹介を詳しくやったのは初めてなのでよく知ることができた。★ 英語の勉強法やポイントなどすごく興味を持ちました。忘れない講座になりました！☆ 「水を買いたい」という設定で様々な文を考えさせるという形の授業はわかりやすくてよかった。★ 今まで英語を難しく考え過ぎていたなあと思いました。☆ 話すのが一番簡単で文字を使って読んだり書いたりする方が難しいことを初めて学びました。また、簡単な言葉を工夫して使えば伝わるということもわかりました。★ 英語によってたくさんの人と繋がるのだと思いました。自分も目標を見つけて頑張りたい。☆ 英語は難しく、なかなか大変なものだと思っていたが、とても楽しいものだった。他の国に行った時、外国の人が一番知りたいのは「日本ってどんな国？」日本のこともちゃんと知ろうと思った。★ 英語が如何に大切かを知った。今まではテストに…と思ってやっていた勉強だったけど、話せることを目標にした勉強に換えて行こうかなと思った。☆ 英語って何なのかわかった。話すことが一番簡単だとは知らなかった。ブリティッシュヒルズでも自分の意思を伝えられるといいな。★ 英語も大切だが、まず日本語をマスターしたいと思った。☆ 会話は工夫すれば難しい表現なしでも通じる。会話のポイント①大きな声ではっきりと②目を見る③うなずき、相づち④明るい笑顔。★ 「調子はどう？」「えーっと」などいろんな言い方があって面白いと思った。ブリティッシュヒルズで使ってみたい。☆ 上手に話すことも大切だけれどそれ以上に伝える事が大切なんだと学びました。★ 会話の中に「really」「me too」など入れるだけですごく楽しいものになると感じた。☆ ことわざをもっと知りたいと思った。An apple in a day keeps the doctor away. ★ 完璧でなくてもいいから、英語を自らしゃべりたいと思った。教科書すべてを暗記しているのはすごい。☆ もともと英語が嫌いでやりたくないという気持ちしかなかったが、講座で楽しまなければ上達するものではないということがわかって少しずつ英語に関して興味がわいてきた。★ 間違いを恐れず英語を学習したいです。ブリティッシュヒルズでも伝わる英語で積極的に話していきたい。☆ Take it easy ってかっこいいと思った。★ スペルを推測していくゲームが楽しかった。☆ 意外にも「聞く」というどうさは難しいんだなと思いました。★ いつもは余りやらない細かい発音のコツなどよくわかった。まずは伝えることが大切だと思った。☆ 外国の人と話してみたいと思った。★ コミュニケーションをとるのが苦手だが、こういったことをやって苦手をなくしていきたい。☆ Where there is a will, there is a way. ★ 今まで受けた授業の中で一番楽しかった。英語は楽しい。どんどん英語をしゃべって英語ができるようになりたい！

…楽しかったからよかった！

■ 講師の先生方(期順)



宇田川 公子さん
(高8期)



廣瀬 芳子さん
(高11期)



岩片 卓雄さん
(高12期)



高田 勲さん
(高13期)



大串 康夫さん
(高14期)



竹下 光彦さん
(高15期)



福井 陽一さん
(高20期)



曾我 里美さん
(高21期)



守本 純さん
(高21期)



福地 正さん
(高21期)



相原 裕美さん
(高27期)



林 大介さん
(高47期)

平成24年度母校キャリア教育社会人講話

今年も平成25年3月12日(火)、高校1・2年生を対象に先輩を講師に迎えて、職業について、仕事内容や、社会人として求められること、そのための準備として何があるかなど、将来の進路選択に参考になる話をクラス毎に聞く授業が行われました。講師の方が後輩に伝えたかったことや、講師を務めた感想を抜粋してここに掲載いたします。詳細はいずみ会ホームページ、人材バンクのページをご覧ください。



キャリア教育講師の皆さま

■1年1組 松永 譲治(高20期)

「キャリアについて考える」

今は、将来の自分を創る大事な時です。皆さんが、自由に、自分の未来を創造することに投資できる学生時代はせいぜいあと5年～6年。それ以降は何らかの形で制約のある社会人となり、それは40年以上続くのです。20年後のあなたを想像してみてください。どんな自分にあえましたか?そこで何をしていましたか?未来のあなたは、高校時代のあなたに何と言っていますか?みなさんが今できること、やるべきことは何ですか?それは今しかできません。

■1年2組 牛田 聖子(高27期)

「音楽療法士の仕事」

音大卒業後に「音楽教室や専門学校の講師」⇒「歌手のピアノ伴奏者」⇒「音楽療法士」というように路線変更しながら今に至っていることや、40を過ぎてから音楽療法士に興味を持ち、勉強を始めて資格を取ったことなどを話しました。生徒さんたちからは「働きながら目標を変えていくことができるとは考えていなかった」「何歳になっても勉強しなおすことができることが分かった」など、この社会人講話が若い人たちに様々な大人の生き方を伝える場にもなっていると改めて感じた次第です。

■1年3組 金子 研一(高20期)

「人生の岐路をどう選択したか」

理系大学入試の時に物理と化学の選択を取る学校が多いのは、理系の大学が物理と化学の学習を必要としていることから、また、大学で電機や機械を選択した人は偉くなりたかったら機械メーカーに進むのが王道であるということのように、皆と同じことをする、皆と同じ道を行く、これが大切、重要なことです。しかし、一方で、私の例を挙げると入社して

12年目、技術開発部門に異動したとき、新しい発明のためにどうすればよいかを考えました。それは、皆が考えないテーマを考えることでした。1台のシールドで立坑とトンネルを連続して掘るという技術開発で、天皇陛下から恩賜賞を頂きました。皆と違うことをやる。これも重要です。

■1年4組 吉田 尊雄(高41期)

「深海生物の研究・二枚貝と微生物の共生」

■1年5組 角谷 優(高9期)

「テレビ局が支えている映画の世界とプロデューサーの仕事」

■2年1組 相川 光夫(高12期)

「中南米で木工塗装を指導して」

進路決定に際しては、自分の行きたい道が一番であるが、まだ決めかねている生徒たちには、オンリーワンとは言わないまでも、あまり他人がやらない分野を選ぶのも一つの方法だと伝えたかった。講演後の感想に「木工塗装など考えてもみなかったけど面白そうな分野だ」「スペイン語が日本人向きだなって。大学の第二外国語でやってみたい」、「楽しそうな中南米に行ってみよう」などが多く、嬉しかった。

■2年2組 松本 寛(高20期)

「あなたも今日から国際人」

国際人として今後活躍していくヒントをお話します。最近、国際的に活躍できる人材を育成するため、語学教育の強化策が提案されていますが、語学はあくまでコミュニケーションの道具ですから、それよりも学生時代には「深く考えること」「本質に迫るため、常に疑問を持つこと」の大事さを学んで欲しいと考えます。この二つは大泉高校時代に学んだことでもあります。伝える手段としての語学より、伝える内容と伝え方を磨いて欲しいと願っています。

■2年3組 平井 秀明(高22期)

「大泉・魂」

伊勢丹で36年10か月、自分でもよくまあやり遂げたものだ。宣伝部でファッションテーマソングに竹内マリアを登用し、これが彼女のデビュー曲になる「戻っておいで私の時間」をプロデュースしたことが私のgood job!とにかく、なんでもいいから一つのことをやり続けると、何か必ず得られる!これぞ大泉・魂です。明るく、楽しく、元気に生きて、いつかどこかで会いましょう!!

■2年4組 昇 多加代(高32期)

「心理学志望から社会福祉へ」

大学受験の頃には心理学を目指したものの進学したのは短大法律学科。銀行に就職して主婦業10年の後大学に再編入。社会福祉を学び、現在ソーシャルワーカーとして働くに至る経緯を、「マイナスをプラスへ」「点と点がつながる時」「人間万事塞翁が馬」などのキーワードを挙げて解説。短大で六法の読み方を学んだことは後々社会福祉六法を読むのに役立ち、心理学ではなく社会福祉学に基づく仕事につけたことは、偶然ではなく、その時の出会いによって導かれてきた必然だと考えている。若い方々にも辛い体験や意としないことがあっても

いずれ役に立つ時が来ると信じて進んで行って欲しい。

■2年5組 植村 直人(高50期)

「社会人になってからの夢」

昔から好きだった乗り物に関する仕事をし、製品開発の仕事についてまだ10年と経験は浅いですが皆さんに伝えたいこと。①センス、素質、才能でなく努力を。②馬鹿になり、わ

からないことは徹底的に聞く。③どんなことがあっても継続する忍耐力を持て。④どんな些細なことでもいいから夢を持て。どれも当たり前のことですが、「当たり前のことがそうではなくなっている」現実もあります。これらを大事にして欲しい。そして仕事をするということは非常に厳しいことですが、それと引き換えに楽しいこともたくさんあることを話しました。

母校講演会 林 大介講師(高47期)

6月26日(水) 6時間目に多目的教室に高校1・2年生が集合。同窓47期の先輩林大介さんを講師にキャリア教育講演会が行われました。前半分に座った1年生は中学の1期生。制服姿が印象的。後ろ半分の2年生は自由な服装でこれまたユニーク。講演会の前に行われた放送による生徒会役員の演説にも、過渡期を迎えて…との言葉もあり変化を感じます。お話の主なところをご紹介します。

就職を考えるのは大学3・4年生では遅すぎます。高校生の今が考えるチャンスなのです。

まず、就職のためには(社会的な制約もあり)すべての科目は大切なのですが、「英語がわかる」ということはもう少し大切なことなのです。=仕事はできるが英語ができない=は世界では相手にされません。日本の大学生同士で張り合うのではなく、アジア、世界の学生をライバルとして闘うためにはまず、英語です。英語力は得手・不得手ではなく、やるかやらないかで決まります。

次には「自分を知る」こと。自分の思いを相手に伝える能力を培います。急に言われてもなかなか分析できないので、これは高校生の今から自己分析、自分を知る訓練をしていきましょう。自分ができると自分がやりたいことも見えてきます。世の中のことを知るのも大切ですが、これは比較的たやすく学べます。然し自分を見つめる、長所も弱点も気づくことは容易ではありません。自分を知っているか、自分はどのような意見を持っているか、という



ことに重さがあります。知れば自分が「何ができる」かも見えてきます。

キャリアとは個人として仕事とどうにかかわっていくかという個人の生き方そのものなのです。本当にやりたいことか?自分の価値観と合致しているか?あなたを動かしている核は何か?たぶん65歳くらいまで働くならば、選択を誤るととても辛い人生になるが、やりたいことをしていればどんどんその能力がついてくるし、幸せな人生を送ることに繋がるでしょう。

これらを参考に、今やれることは今日から始めること、今日からやめること。本などから自分は本当に何がしたいか、ヒントを見つける、気づくこと。今だからできるのです。大学では遅すぎる。林講師は20年以上NHKの英語講座を聴き続けています。(広報部)

校外学習事前学習会

2月に1年生はディズニーシーへ校外学習に出かけました。その際、オリエンタルランドに勤務していた桑野眞暉子さん(高16期)を講師に迎え、日本のディズニーランド誕生からディズニーの基本理念などの話を事前に伺いました。ディズニーランドには、来場者をゲスト、働く社員をキャストと表現することになるホスピタリティの精神に溢れています。ほんの一例ですが、創始者のウォルト・ディズニーは「どんどんゲストにごみを捨てさせなさい。その分、私たちキャストがきれいにすればよいのです。人はとてもきれいな場所にはごみは捨てられないのですよ」といって、敷地内の清掃活動をひたすら行い続けま

した。来場する人々に気持ち良く過ごしてもらいたい、また反対に来場者はきれいな環境を保ってくれることに対して尊敬の念が生まれていく。そんな思いやり、おもてなしの心がディズニーランドには受け継がれていて、現在の成功につながっていることなどを勉強し、当日に臨んだそうです。思い思いに楽しんだ生徒たちですが、桑野さんの話を聞いたのでアトラクションやキャラクターへの関心のみならず、キャストや裏の方々の努力・ホスピタリティを目の当たりに学んだ校外学習とのことでした。(大泉高校新聞より)

母校70周年 思い出を語る

昨年11月に母校70周年記念および新校舎落成記念式典が行われ「大泉七十年」という記念誌が発行されました。記念誌へ母校への思い出を寄稿して下さった春日孟さん(中1期)、比嘉高さん(高4期)、寺田献さん(高62期)それぞれの文章を抜粋して皆様へもお届けいたします。

70年の昔 春日孟(中1期)

(前略)第一期生の勉強は4年生の一学期終了迄で、同学年7月からは、戦闘機、隼、鍾馗の設計・大量生産で有名な中島飛行機武蔵製作所(三鷹)戦時学徒動員で働き、5年生になる時にはいち早く、戦時繰り上げ4年修了での卒業を宣告されていたので、慣れぬ仕事から帰宅すると、空き腹に耐えながら、B29の夜襲の為、裸電球を暗幕で覆って、独学、自習を繰り返し、翌日は又、熟練工が戦時召集された後の工場で戦闘機のエンジン作りの作業をする不安な時代をすごしたにも拘らず、学友たちの多くは海軍兵学校、陸軍士官学校、霞ヶ浦海軍予科練習生(所謂、予科練)など、また官公立の旧制高等学校及び旧制高等専門学校(現国公立大学)、或いは、私立大学の予科へと合格し、卒業していった。これらを振り返って熟考すると、一見スムーズに見える戦後時代の流れは、本校を設立した室岡孝治校長の学問を主とする文武教育指導に、それを支え、心身一如で、情熱と愛情と信念を持って厳しく講義、教育をして下さった全ての先生方のお陰なしには語れない。学徒たちは、その教えに応え、世に恥ずかしくない実績を遺して巣立って行った。この事が、即ち、我々が戦後の復興を通じて誤りのない活躍を成し得たと考えてよく、本校が更なる発展の道を歩み得たのだらうと思っている。

あれから六十年も経ったのですね 比嘉高(高4期)

そう、七十周年ですか。私が高校3年生の時、創立十周年があり、当時は円形校舎も体育館も講堂もなく、木造2階建校舎とバラック1階建校舎に囲まれた中庭で全校生徒が整列し、記念式典を行いました。ちょうど生徒会長だったので生徒代表として祝辞を述べたのですが、何を言ったか忘れてしまいました。たぶん生意気なことを言ったのでしょう。私が旧制大泉中学(都立二十中)に入学したのは終戦の翌年の4月ですから戦後入学の第一号でした。戦時中、陸軍幼年学校や、海軍兵学校に行っていた先輩が復学して、軍隊の雰囲気を持った怖い人もいました。(先生の中にも。)しかし戦争の傷跡も生々しく、衣食住のすべてが不自由で、ボロをまとい、破れ靴をはき、腹をすかせながらも、戦後の解放的雰囲気で、自由・民主主義・個人としての人間の尊厳といった基本的コンセンサスの上に、将来の明るい建設的な夢に胸をふくらませていた、よき時代でした。

いま、大泉は中高一貫校となっているようですが、私達高校四期生は、中学1年のとき、学制改革で、今の六・三・三制となり、新制の大泉高校附属中学となり、その2年と3年、高校3年間と通算6年間の実質中高一貫校を体験しました。

(したがって、中学の後輩の入学は無く万年最下級生でした。)12才から18才の6年間は思春期から青春期への人生のもっとも多感な激動の時期ですから、この6年間で共有し、共に学び、共に遊び、あるいは争いあった仲間である同期生は、お互いになんでも知り尽くしているので、大学生活や社会人生活でえた友人達とは違った、特別な生涯忘れ得ぬ友人です。いまでも(傘寿となりました)同期会を毎年やっているし、気の合った仲間同士で、ゴルフや旅行や、飲み会などで、若き日の思い出などを語り合っています。

なお、大泉中学は男子校でしたが、私達が高校1年の時に男女共学テスト校となり二十数名の女子生徒が入学して来て、以降男女共学校となったのです。私ごとですが、私の妻も大泉高校の卒業生であり、息子も大泉高校にお世話になっております。私の人生の大事な部分で大泉高校の存在があり、大泉の方向には足を向けて寝ておりません。(後略)

プレゼント 寺田献(高62期)

高校生活は急に渡されるプレゼントのようでした。これほど仲の良い友達ができ、また大泉高校に愛着がわくとは思っていませんでした。

高校は大学までの通過点に過ぎないのだから、高校では部活動等はせず大学受験に向けた勉強をしようと思っていました。けれどもこの計画は入学した直後に終わりました。入学式の10分ほどの間に応援団って格好良い、そう思ってしまった私は立候補で応援団委員になりました。

しかしながらその印象も一週間で崩壊しました。練習は厳しく、体力もそれほどなかった私は応援団の仲間迷惑をかけつつ、体育祭に臨むのが精一杯という感じでした。何度か応援団を辞めようかなとも思いましたが、それを同期の仲間や先輩に言い出す勇気もありませんでした。先輩の引退後、自らが考え、仲間と考え、そして完成を目指して行く事を通して見ていたものが一気に変わりました。意味の分からなかった練習から目標を見据えた練習となり、体育祭の成功の為という目的も明確になりました。この学校のために何が出来るだろうか、そう考えて野球部の応援や体育祭のための準備をするようになりました。今でも仲間たちと応援団のことを語り合っています。記憶は次第に薄れていくけれど、一生懸命にやったことだけは忘れられません。高校生活からこれだけ受け取ったのだから私もまた後輩に何か残さなければと思っています。高校生の時にできること、できたこと、10年後、20年後にできる事、しっかりと見据えて惜しみなく母校のために心血を注いでいきたいと思います。(寺田献・高62期)

声

☆ 昭和16年4月鷺宮の府立20中入学、木造平屋建てのバラック校舎、17年大泉の3階建白亜の新校舎へ移る。18年から、勤労働員・中島飛行機製作所に。19年11月朝霞の陸軍予科士官学校61期生徒として入学。戦後母校の隆盛、慶賀の至り。★ 昭和17年ころと比べると夢のような大発展。大泉中での教育は今も私の活きる拠り所の一部です。☆ 中学から高校に変わった時の校章について。小生が滋賀か

ら転向した折に中学の校章が同じであることを話して変更になった。★ 入学した昭和29年は木造2階建校舎の外壁がところどころほころびていた。新校舎落成の写真は夢のようです。ごぞんじですか？は非常に良い企画でした。☆ 会報を見ると門からの長い桜並木を思い出す。★ 校舎は変わっても校風はそのままであって欲しい。時間がたつほどにその良さを感じています。☆ 校庭は広いが校舎、体育館は狭くて古かった大泉。新校舎の写真を

見て驚くばかりです。これからいろいろお知らせ下さい。★ あまりの立派な校舎と設備にびっくりしています。半世紀のへ変化の大きさにただただ感心。☆ 円形校舎も解体とか。大泉ヒストリー写真集を刊行していただけたらと。★ いずみ会が組織的に生かされた活動がなされ、喜ばしく。☆ 逐年拡大していく組織の運営ご苦労様です。企画も広報もしっかりしていますね。

(18ページに続く)

続・校友の歌考

「校友の歌」は使命をしめて 小川陽弘 (高3期)

「国破山河在、城春草木深」。有名な杜甫の「春望」です。「新しきわれらが祖国／東西の文化の園生／うち立てん使命をしめて／日にはげむああ大泉」。校友の歌3番です。

校友の歌の意味がよく分からないという話を耳にします。特に3番の歌詞は語句の断片的な羅列みたいだし、「使命をしめて」というのも意味が分からない、「秘めて」の間違いなのではないか、というような意見もある様です。文語体の詞の中にここだけ口語文が入る筈もないので「秘めて」は論外ですが、そのほかにも作詞された伊藤静先生の熱い思いが込められている内容が理解されていないのではないかと危惧され残念なので、少し解説したいと思います。

この歌が制定された1946年は太平洋戦争に敗れた直後で米軍の占領下であり、至る所に廃墟が見られ、食料も乏しく、ひどく混乱した社会情勢の中でした。そういう情勢の中でも「国破レテ山河在リ」ではないかという伊藤先生の強い思いが「新しきわれらが祖国」の中に籠められているのです。「園生」という余り耳慣れない言葉も、「城春ニシテ草木深シ」から自然に導かれたものなのでしょう。

良く分からないと言われる「使命をしめて」の「しめ」は終止形「しむ」(他動詞下二段)で、「染む」「沁む」「浸む」「滲む」などの文字が充てられます。これの連用形に接続助詞の「て」が付いて「しめて」になっています。伊藤先生が特定の漢字を使われなかったのは、多くの文字の意味を籠めたかったからではないでしょうか。

という訳でこの歌詞は、「(敗戦の混乱から立ち直って)新しい日本に世界中の文化が集う楽園を打ち立てようという使命を深く心に刻み込んで日々励もう」という高邁な思想を歌ったものなのです。わが「校友の歌」は歌詞、曲共に非常に優れた格調の高い歌です。この歌が正しく認識されて永く歌い継がれて行く事を願っています。

使命を標めて 高津幸一 (高13期)

私はこれまで「使命を標めて」と感じていました(高校時代は「我こそは」の趣旨で「使命を占めて」と考えていました)。

文化の園生をうち立てる使命は大切なことであり、雑念に惑わされないようそこに標縄(シメナワ)を張り、そこを到達目標として日々励むとの考えです。

校 友 歌

作詞 伊藤 静
作曲 高田 三郎

1. はろばろと 明き武蔵野 2. そびえ立つ 清き富士が嶺
咲きかほる 山桜花 身と心 強く正しく
競ひ咲け 自主創造の ならび行け 師友手を取り
大理想 ああ 大泉 日に学ぶ ああ 大泉

3. 新しき われらが祖国
東西の 文化の園生
うち立てん 使命をしめて
日にはげむ ああ 大泉

まんぽ会の足跡

5月11～13日、いずみ会副会長 片山 隆氏の“兄妹展”が地元の強い要望で実現した。“まんぽ会”の写生も多くあったので、絵を観ながら足跡を振り返ろう。

会場に訪れた人たちからは、人それぞれの心の中の思い出が鮮やかに甦り、あちこちから感嘆の声が起きていた。皆で思い出を共有し、まんぽ会がますます発展しますように！！

1	19.11.15	練馬・広徳寺	18	22.9.28	臨海公園・月島もんじゃ
2	20.1.11	川越7福神めぐり	19	22.11.24	奥多摩
3	20.3.31	東京ジャーミー見学・湯島	20	23.1.25	国会見学
4	20.5.14	新緑の高尾山	21	23.5.31	東大・本郷・上野
5	20.7.17～18	那須	22	23.7.25～27	尾瀬
6	20.9.29	大宮・鉄道博物館	23	23.10.7	東向島・スカイツリー
7	20.11.25	六義園・染井・とげぬき地蔵	24	23.11.28	東京湾クルーズ
8	21.1.24～25	湯西川	25	24.1.20	深川7福神
9	21.3.31	池上本門寺	26	24.2.26～28	津南
10	21.5.26	神代植物園	27	24.3.30	NHK 見学・六本木桜
11	21.7.18～20	奥日光	28	24.5.31	岩渚水門・荒川船下り
12	21.9.29	横浜・みなと散策	29	24.7.31～8.2	美ヶ原
13	21.11.25	天覧山・能仁寺	30	24.10.1	航空自衛隊入間基地
14	22.1.12～13	熱川	31	24.11.30	秋の芸術を楽しむ
15	22.3.30	小金井公園	32	25.1.7	JAL 整備工場・国際ターミナル
16	22.5.25	鎌倉	33	25.6.1	東京競馬場・サントリー一府中工場
17	22.7.14～16	津南・秋山郷	34	25.8.6～8.8	思い出の中禅寺湖



津南(22.7.14～16) 河原を掘るとお湯がでてきた。おじゃま虫は誰？



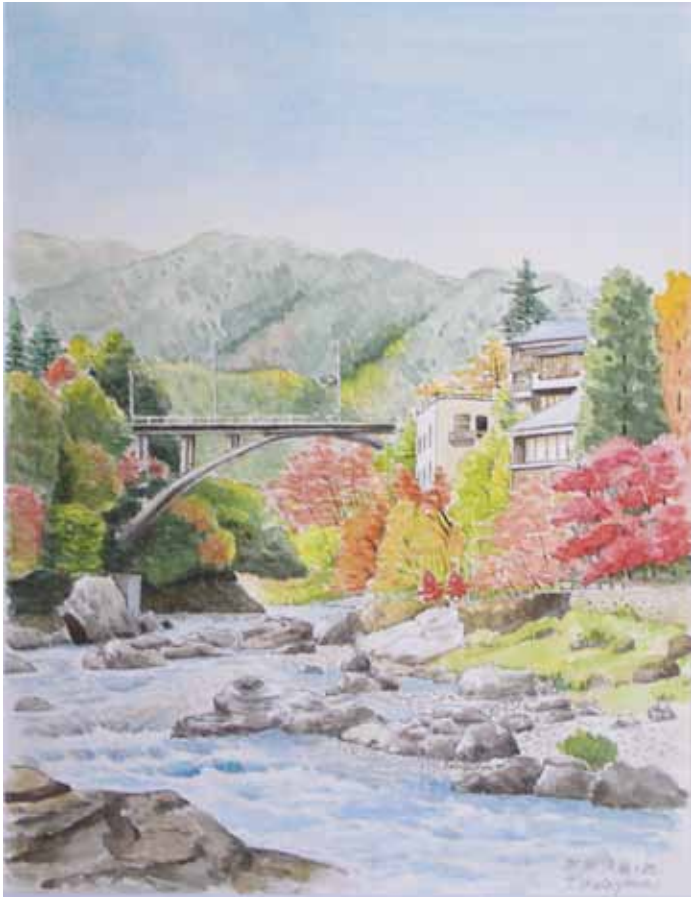
東京競馬場 (25.6.1)
広い競馬場は馬券を買うだけでなく、家族で楽しめます。これからはお孫さんと一緒にどうぞ！



奥多摩 (22.11.24)
澤乃井 酒蔵見学の後はもちろん軽く一杯



尾瀬ヶ原 (23.7.25～27)
遠いとおい遥かな道・・・尾瀬沼までは遠かった



御岳溪谷 美しい景色にうっとり



津南 (24.2.26 ~ 28)

婿投げで有名な松之山温泉！いい湯だな・・・と感じる間も無くサッとひと風呂



美ヶ原 (24.7.31 ~ 8.2)

木陰を求めて 斜面で足を踏ん張っての昼食はきつかった



美ヶ原 かつ重は重かった。デザートの冷えたスイカは格別



スカイツリー (23.10.7) 絶景ポイントは人の列



明治神宮 (24.11.30)

落ち葉を踏みしめて・・・明治神宮の裏にこんな素敵なスポットが

会員の集い



応援団

平成25年5月5日(日)

須藤 孝夫(高60期)

応援団は、ラグビー部に並んで高校創設当時からある、もっとも歴史のある団体です。今年で66期生となる3年生以下現役達の一つの山場であるOB会が行われました。

当日は多くのOB・OGが集まる中、現役達によるエールガン・校友の歌・エール交換・男子演舞である空手・女子演舞である扇の披露が行われました。現在応援団は、人数が非常に少なく存続も危ぶまれています。現役生達は少ない人数に負けることなく、熱い中、気合を入れて練習に励み、OB達は現役時代の頃を振り返りながら、今の現役メンバーに感じてほしいことなど伝えました。

OB会が終わった後は、3学年全ての団員が充実感にあふれた表情をしており、一皮むけた姿になっていました。

大泉高応援団は、OB会組織で把握している37期以降で600人を超える組織であり、創設以来より大泉高校の委員会組織としてやっています。委員会組織であることは、人数を確保する上で、応援団にとって極めて重要な生命線になっています。1年生は、最初は慣れない応援団に戸惑いも見えますが、2年生以降では応援団を楽しんでおり、率先してこの伝統を受け継いでいってくれています。

今後も伝統ある応援団が存続し、現役生が後輩達に教え受け継いでいくのを願います。

(大泉高校サブグラウンドにて)



男子バレー部

OB会の年内開催に向けて 丸山 和郎(高13期)

平成21年度(4年前)62期卒業部員を最後に、男子バレー部は廃部となっています。井草、石神井等、他の高校も同様で、少ない部員同士が混成チームとして練習を行い、区民大会、都大会に参加出場しているようです。大泉高も中高一貫校として新たなスタートを切ったところですが、生徒数が少ないため、サッカー部、野球部など人気のある部を除いては、新入部員の獲得では共倒れしかねない状況にあります。

このような中、20期の尾崎さんの尽力により、昨年、顧問の鈴木先生を中心とする若手のOB会が開催され、2期の新木さん、13期の田中、丸山も加わり、中学3期から高校62期までのOB部員名簿をなんとか埋めることができました。10月のいずみ会総会出席のOBには、この部員名簿とOB会開催案内とを配布します。今後OB会が何をテーマに活動するの

かなど、意義のある懇親会を計画しています。

野球部OB会の動向

OB会事務局長 山口達夫(高20期)

今年の7月は野球部OB会の私たちにとても、現役チームの活躍によって大変熱い夏になりました。西東京大会において、2回戦(対総合工科7対2)、3回戦(対富士森3対2)を順当に勝ち進み、迎えた4回戦対聖パウロ学園では、1点負け越して迎えた9回表の攻撃で、相手の失策と連打により逆転に成功、5対3で勝利。みごと9年ぶりにベスト16を勝ち取りました。対創価との5回戦に臨んだ現役チームの応援に、多くのOB会メンバーも駆けつけました。熱い応援むなく2対0で惜敗しましたが、余韻冷めやらぬOBメンバーは、球場近く中華店での残念会で大いに盛り上がりました。(写真)

8月下旬には、現役野球部を「物心両面」で支援することを活動の一つとして掲げているOB会として、「技術指導」を目的として南アルプス市櫛形総合グラウンド野球場で行われた夏季合宿に、角原雄一氏(高10期)をはじめとする4名のベテランOBが参加しました。この成果は、新チームにおける秋季大会、そして来年の甲子園を目指しての活躍につながることを期待して止みません。



高4期

傘寿の集い

橋本 宏

私たち高校4期生は、終戦直後の昭和21年のまだ戦後の混乱が収まらない4月に、都立大泉中学校(男子校)に入学しました。

食べるのが精一杯の時代でしたが、桜の金ボタンのついた制服を着て、桜の校章が入った学帽をかぶり、希望に輝いた都立20中に入ったのです。

それから4年間、後輩は入学してきませんでしたが、高1の春、それまで5クラスだった学年に女子生徒が入学し、男女組2クラスが新設されました。スカートは揺れ、色がはじかれた眩しい雰囲気でした。

いっぽう男子組は、高下駄、破帽などをよそおい、伝統的なパンカラぶりで校風を守ったのです。そして翌年、待望の

後輩が入学してきました。

昭和27年、桜並木が満開だった校門を背に、6年間に優しく支えてくれた母校を巣立ったのです。

中高一貫の6年間は、在校時代でも卒業した折でも、互いの絆は固く、飲めば肩を組み合って校友の歌でお開きをするのが同期の集いだったのです。

そして、よわい79才になり、昨秋10月、「傘寿の集い」を母校が眺望できる光ヶ丘のホテルで開催しました。懐かしさが一杯詰まった仲間と集い、最後に校友の歌を合唱したのです。病などで出席できなかった友よ、この写真で“あの日”を回想して頂ければ幸いです。どうぞお元気でお暮しください。



高5期

卒業してから60年 平成25年3月29日(金)

松岡 五郎

今年の3月29日に、まだ咲き誇っている桜に囲まれた四谷の主婦会館プラザFにて5期同期会を開催しました。

50人余りが参加し旧交を温め、60年前の雰囲気を楽しみました。明春の同期会開催をお土産としお互いの健康を約してお開きとしました。



高6期

六期会活動と、これから 平成25年5月29日(水)

今村 邦夫

第三回喜寿を祝う会は5月29日(水)新装復原された東京駅ステーションホテル「しち十二候」で開き、35名が参加されました。六期生は昭和10年～11年生まれが主体です。第一回は昨年7月横浜・鶴見で井上森夫先生の「米寿を祝う会」(世話人代表:石井伊佐子・松村幸子)との共催で行いました。第二回は昨年12月埼玉・飯能(世話人代表:大澤輝夫)でそれぞれ30～40名の参加がありました。

六期会(代表幹事:豊嶋志朗)は平成22年(2010)京都で岡崎正先生を囲む会(世話人代表:畝目襄治・寺本敏則)を行い、23年には名古屋で開催(湯の山温泉・伊勢神宮、世話人代表:松本日出彦・高橋つとむ)と、旅を楽しんでいます。今年は9月26～27日、名古屋六期会(世話人:松本・高橋)第二回が行われます。JR駅集合～郡上八幡～白川郷～奥飛騨温泉『穂高荘・山のホテル』標高2,200メー

トル展望台で北アルプスの眺望を楽しみ、飛騨高山を経て名古屋へ戻るコースを予定しています。

(東京駅ステーションホテルにて)



高8期

いずみ会募金 74,000円集まる 平成25年4月15日(月)

田邊 繁

体調不良で前日急遽3名の欠席の連絡があったが、しばらくぶりの参加者も多く80名が集まった。いつも出席率が高いのは、20数年前当時の幹事が名簿のメンテナンスを徹底的に実施されたおかげです。

4時定刻に軽快な茂木氏の司会で始まり、いずみ会副会長の片山氏の開会の挨拶。畑野・土屋・中山三先生から、「同じ後期高齢者仲間」というありがたい？お言葉を頂いた。

参加者記憶甦りの起爆剤にと一年次・二年次のクラス名簿が配られ好評だった。

会の半ば、いずみ会寄付用の『募金箱』を持ってまわり74,000円の寄付が集まった。最後に皆で、校歌・校友の歌を合唱し閉会した。

次回は25年秋です。なお、F組は畑野先生の「米寿を祝うクラス会」を10月23日に開催予定です。

(青山ダイヤモンドホールにて)



高10期

2年ぶりの再会です 平成25年5月19日(日)

前川 禎男

平成25年5月19日(日)に神宮外苑の深緑となったイチョウ並木の入口にあるロイヤル ガーデンカフェの2階レストランを貸し切って開催しました。当日は宇高先生、中山先生そして永嶋先生にご出席頂き、またアメリカからはF組の古田紘一さん、G組の芦田典介さんと後藤興日さんの3氏が駆けつけてくれて一層賑やかな会合となり、2年ぶりあるいは10数年ぶりの再会を喜び合い、高校時代に

還った一日となったようです。

最後に記念写真を撮った後、50歳台は100名を越える参加者もありましたが、最近では体調が勝れない方も出てきて、60名台となっておりますので、お互い日ごろ体調を整え次回の同期会に再会を誓って解散となりました。

また、翌日は海外組の後藤、古田両氏の歓迎ゴルフを有志で楽しみ、19番ホールの後大泉高校を55年ぶりに訪問して、新校舎を見学させて頂きました。夜間にも拘らず新校舎をご案内いただいた学校関係者の方にアメリカから駆け付けた両君は感謝・感激して帰国しました。



高14期

同期会のお知らせ

平成25年10月14日(月) 14時～

例年通り14期の同期会を10月14日(月) 14時からいつもの池袋駅徒歩5分の第一イン池袋2Fレストラン「ピノ」で行います。懐かしの高校写真スライドショーや、フォークダンス、そしてあの頃の歌を歌ったり、とても楽しいですよ。

今年は「古稀」になりますので皆でお祝いいたしましょう。

ご案内は別途お送りしていますが今からでも間に合います。是非ご参加下さい。

幹事：大串 携 帯：090-9830-6711

e-Mail: ohkushi@ninus.con.ne.jp

下の写真は、2012年(昨年)の同期会のスナップ写真です。



高15期

50年目の修学旅行 日光・鬼怒川の旅

平成24年11月14日(水)～15日(木) 森田陸四郎

15期は2年に1回の割合で同期会を開催していて、14年に一度は宿泊しての同期会を開催しています。2012年は待ちに待った、宿泊を伴う同期会の年です。晩秋の11月14日は奥日光散策、ゴルフとグループに分かれて自由行動。宿の「奥鬼怒川温泉ホテル」に、三々五々集合して、温泉

でゆっくり汗を流し、宴会に突入。皆さんに差し入れて頂いたお酒やお米クッキーを景品にビンゴをするなど大いに盛り上がりました。

翌15日は、日帰り参加者と合流し、日光東照宮、輪王寺、二荒山神社を修学旅行のようにガイドの説明を聞きながら回りました。お昼は、日光金谷ホテルで優雅にワインを飲みながらランチ。時間切れとなるまでおしゃべりを楽しみました。例年、2014年も集います。今まで来れなかった同期の皆様、次回は是非是非ご参加ください。



高17期

同期会の報告

平成25年6月8日(土)

青木 義光

案内状で会員に「過去の思い出だけでなく、現在や未来についても、楽しく語らしましょう!」と呼びかけました。

老人53名が無事に会場にたどり着き、受付でくじ(テーブル・座席 指定券)を引いて、6卓のテーブルのそれぞれの座席に着席しました。左右に座っている人を見て、ニッコリ微笑んだ人も露骨にがっかりした人もいました。しかし、そこは長い人生を過ごしてきた人ですから、与えられた運命に逆らわず、なんとか時を過ごす術を身につけており、差障りのない会話をする人・飲食に専念する人・会場を徘徊する人など、それぞれに楽しんでいたように見受



けられました。

自己紹介・近況報告では、それぞれ歩んできた人生や今の生き方を感じとれるようなスピーチでした。

その他いろいろありましたが、最後は「来年 再会しましょう!!!」と別れました。

(新宿区内 アートコンプレックスセンター)

高
19
期

オリンピックの年は19期同期会!

平成24年12月8日(土)

佐久間優之

1964年、東京オリンピックの年に入学した19期は、2008年北京、2012年ロンドンと同期会を開催しています。2012年は、12月8日(土)午後、JR目白駅近くの日立目白クラブで、8組篠原先生、9組小川先生、保健体育甲賀先生と109名の同期の参加を得、先生ご挨拶、歓談、懐かしいスライド、校歌、校友の歌の熱唱と楽しいひと時を過ごし、2016年(リオ)の再会を誓い散開しました。(詳細は19期HPを参照ください。)

<http://www.geocities.jp/k19msakuma/index.html>

(日立目白クラブ)



高
20
期

100人の笑顔

平成25年7月6日(土)

比地原正子

前回の同期会で4年後の再会を固く誓い合った20期生たちは、約束通り4年後の2013年7月6日、猛暑の中を会場のホテルメトロポリタンへと集まりました。小山先生と小田切先生もご参加下さり、その数は100名を超えました。式次第に沿って全員で大泉高校校歌を斉唱、今回のお世話役代表の挨拶に続いてお二人の先生からは温かいお祝辞を頂き、北海道から駆け付けた友の挨拶、乾杯、そして楽しい歓談へと会は進行し、還暦を3年前に迎えた20期生はすっかり高校時代に帰って懐かしい話に花を咲かせました。外見は白髪でも一言口を開けば当時と全く変わらない旧友らに会場はますます盛り上がり、クラス毎や部活仲間での写真撮影、更に全員での記



念撮影も済ませ、最後は体育祭を彷彿させる校友の歌の斉唱という大盛況のうちにお開きとなりました。2次会も大多数が参加し、3年後の第7回同期会での再会を誓いながら名残を惜しみつつ閉会となりました。

(ホテルメトロポリタン(池袋駅西口))

高
27
期

大泉高校27期校友の歌夏の陣

牛山 裕光

それは、高校を卒業した浪人生4人から始まった。4人は、新年会と称し高田馬場のとある中華料理店に集合し語り明かした。大学受験前夜であった。そして、「来年もまたここで新年会をやろう」と約束したのだった。

あれから38年、その会は一度も途切れることなく続いている。そして、「あいつどうしてるかな」「今度呼んでみよう!」が重なってついにその人数は、三十余名に達してしまった。既に高田の馬場の中華料理店は、潰れてしまって存在していない。新年会は、高田馬場から赤坂に河岸を変えて続いている。

また、途中、同窓会の幹事が加わり、「連絡するのが大変だからメーリングリストを作ろう。」ということになり、さらに、暑い時期、「冷たいビールを一緒に飲もう。」と有志の暑気払いが始まり、新年会と暑気払いから、大泉高校27期「冬の陣」「夏の陣」と名称を変えて年に2回の同期会となってしまった。メーリングリストのメンバーは、125名となり、同期の結束は、非常に強固なものとなっている。

今回は、夏の陣5回目。前回まで新宿のパブで行っていたが、既に参加人数が箱を超えてしまったため、「冬の陣」「夏の陣」とともに西新宿のローズガーデンホテルのレストランに定着しつつある。開催は、7月19日19:00参加人数は、過去最大の54名、遠くスウェーデンからの参加者もあった。3時間もの時は「あっと!」という間に過ぎ去り、高校時代のバンドを引きずる「親父バンド」3組が、高校時代の仲間と再編し、次回公演を行うことまで決定してしまった。38年ぶりに再会する仲間もあり、来るかどうか迷ったとのことであったが、そばの友人に背中を押され、来てよかったとしきりであった。悩みは、子育てから介護に移り、いくつかの共通する現在の話題と懐かしい思い出にあふれた笑い声が絶えない会であった。会った直後は解らず、アルバムを加工して写真集にしてくれた仲間もあり、それを教科書に昔を思い出しながら語らう内、だんだんと思いだしてゆく。そんな会になり、私は声を大にして伝えたい。「同期の仲間よ! 臆するな! 集い語らおうではないか!」



声

(11ページからの続き)

★ 役員の若返りを希望。選任制度の検討が必要だと思う。☆ いずみ会の活動によって大泉を再発見しています。★ 心温まる会報を楽しく読んでいます。☆ 若いころの気分に帰れて嬉しい。先生方の写真を見て元気づけられました。★ 会報、嬉しく、楽しく、そして「ハッと」!!します。☆ 若い期のOBOGのネットワークが徐々に広

がると思います。★ 受験勉強に明け暮れた高校時代でしたが、良い学校だったと思います。自由、闊達な気風は今も健在でしょうか? ☆ 都立大泉高校は私の礎です! ★ 校友の歌の奇妙な一節…私も長らく疑問を感じていました。☆ 母校の便りは毎年楽しみにしています。ぜひとも一度新しい歴史に一步踏み出した大泉を訪れたいと思います。★ 母校の歴史と発展を誇りに思います。☆ 会報はいつも楽し

く拝見しています。20～21期の皆さんの写真が出るようになって懐かしくなりました。★ 会報をととても楽しみにしています。会費を納めるくらいしか協力できないのですが、会報により大泉高校と繋がっているのが嬉しく、誇りです。☆ 会報いずみで母校の様子、同期の様子がわかり、嬉しく読ませていただいています。★ 大泉教師による浪人生対象の有料特別授業を!

追悼 ご冥福をお祈りいたします

■先生方

教科	現姓	逝去日
英語	淀縄 光洋	H25.1.9
社会	石井 秀	H24.12.18
数学	菊谷 義美	H24.8.12
保健体育	山谷 敬之	H24.4.29

■会員訃報 (敬称略)

期	現姓	逝去日
中学1期	大和田啓三朗	H24.8.24
中学1期	梶沼 昭	H24.1.14
中学1期	川上 昭	H23.7.15
中学1期	三橋 雄一	H24.1
中学2期	菊谷 義美	H24.8.12
中学2期	斎藤 和夫	H19
中学3期	遠山 隆久	H24.8.1
中学3期	峯澤 進	H24.3.21
高校2期	高橋 宏	H25.6.9
高校2期	保戸塚啓文	H25.6.18
高校3期	大町 隆式	H23.10.14
高校3期	永井 甫	H24.8.29
高校3期	中村 一彌	
高校3期	元谷 琢司	H24.1.28
高校4期	瀬田 春生	H24.1.11
高校4期	永山 京	H23.7
高校5期	井口 稔	H25.6.15
高校5期	石戸谷貞仁	H24.7.6
高校5期	片桐 俊行	H24.8.4

高校5期	斉藤 照夫	H23.11.22
高校5期	関 信義	H24.2
高校5期	江口 勝生(堤)	H24.8.17
高校5期	西村 充	H24.7.16
高校5期	佐藤 早苗(柄本)	H24.7.1
高校6期	岡芹 繁夫	H25.3.3
高校6期	加納 弘郷	H24.9.7
高校6期	桐山 和雄	H25.1.19
高校6期	田中 省三	H25.6.29
高校6期	細田 宗治	H23.10.21
高校6期	平田千枝子(浅沼)	H25.2.18
高校6期	藤井 佳子(遠藤)	H24.11.12
高校7期	市川 弘一	H24.12.30
高校7期	岸喜 定	H23.5.22
高校7期	和田 亮一(小池)	H24.9
高校7期	山田 清子(大竹)	H24.9.16
高校7期	山本 節子	H24.2.16
高校8期	横山 光磨(北村)	H24.7
高校8期	木村 賀久子	H23
高校8期	杉岡美砂子(松浦)	H24.10.25
高校8期	田中 生男	H24.2
高校8期	佐藤 元彦	H24.12
高校9期	仁井 良平	H25.6.21
高校9期	和島 司	H24.12.24
高校10期	小野沢弘之	H23.9.12
高校11期	沖村 正康	H24.9.4

高校11期	神戸 史雄	H22
高校11期	田代 裕一	H25.1.20
高校12期	畔柳 次郎	H24.5.27
高校14期	関谷 竹生	H25
高校16期	奥田日佐枝(宮坂)	H24.10
高校16期	鈴木 哲	H25.5.15
高校16期	小島 静	H24.5.11
高校16期	小川 潔	H24.8.22
高校16期	長井 紀子	H17
高校17期	大山美智子(山下)	H25.1
高校18期	若杉 哲夫	H24.7.16
高校19期	松林 良子(富永)	H24.3.2
高校19期	高田 信子(北田)	H24.10
高校21期	村林 崇志	H24.4.21
高校21期	近角 信利	H24.2
高校23期	新居 克洋	H24.2.14
高校24期	石川 経	H24.2.27
高校24期	野崎智恵子(本間)	H1
高校27期	宮崎雄三	H23.8
高校28期	里山 裕子(秋元)	H23.12.27
高校31期	太田 毅	H24.10.14
高校33期	細谷 力	H14.5
高校39期	小島 太郎	H12
高校41期	小西 友規	H23.3.3

■仁井良平さん追悼

30年近くひたすら野球部の応援団として野球部を愛し続けていた「大泉の野球親父」こと高9期の仁井良平さんが、平成25年6月に逝去されました。ちょうど5年前、同じく高9期の大軒史子さんから「野球部をずうっと応援している方がいるんですよ。一度会ってみては?」と声をかけていただき、是非会報に記事をと、大泉のグラウンドを訪ねました。練習試合でしたが、スコアブックをつけながら、選手一人ひとりの動きを頼もしそうに、そして「こうしてみれば良くなるかな」など本当に愛おしくてたまらないという様子でお話しされていました。こ

れがきっかけとなり、練習試合とか夏の大会をご一緒に観戦させていただきましたが、ただ、じっと、ひたすら応援し続ける情熱、愛情は素晴らしい。そんなお人柄ですので、選手のお母さん方とも同じ境地。試合が終わってからの選手たちのこまごました感情、様子などもしっかり受け止めて「よしよし、よく頑張った」と優しい目で応えている応援団です。例年夏の大会の組み合わせ表や試合会場の情報をわくわくしながらお知らせくださるのに今年はどうしたのかな? と思った矢先の訃報でした。お通夜に伺った会場には野球部の卒業生。そしてたぶん練習が終わってから見えたので

しょう、大きなバッグを背負って野球部の面々が日に焼けた顔で遺影を見上げ、お別れに来てくれました。仁井さん、残念だけれどみんな来てくれてうれしかったでしょ? たただだ見守って応援してください。仁井さんの心をみんなわかっていただいているんですね。7月の大会ではお写真が応援席に。仁井さん球場に来られてよかったですね! 応援席で今年も一緒に観戦できました。野球部がんばりましたね! 球場の夏の空を見上げると仁井さんは嬉しそうに微笑んでいたような…。どうぞ安らかに、そして野球部を永遠に応援し続けてくださいね。

広報部 荒井眞理子

会費納入者一覧(敬称略・平成24年度納入分)

昨年度も多くの皆様に同窓会会費及び寄付を頂き、ありがとうございました。今年度も宜しく願い致します。今回お名前を掲載したのは、次の方々です。

- ① 寄 付 者：平成24年度4月1日から平成25年3月31日までに寄付を頂いた方(終身会費を超えて振り込まれた金額は寄付として扱わせて頂きました)。
- ② 広告提供者：会報いずみ第57号に広告を掲載して頂いた方。
- ③ 会費納入者：赤色表示は昨年度で終身会費を納入済みとなった方です。すでに終身会費を納入済みの方は、会報同封の振込用紙にその旨記載されていますのでご確認ください。

■ 会費納入のきまりは、

- ① 高校卒業後10年を経過した年度から、満70歳を迎える年までです(今年度は高校55期の方から高校14期の方までが会費納入対象者です)。
- ② 会費は千円です。過去の未納会費には遡及しません。今年度分から頂きます。

会を維持・発展させるためには、どうしても資金を必要とします。今後とも会費の納入・寄付でのご協力を宜しくお願い致します。

ご質問・ご意見がございましたら、次の担当までご連絡ください。

会計部長 山口達夫(高20期)

e-Mail: izumikai@v7.com

寄付者一覧(寄付額千円単位)

【中01】竹田節男(1)、畑井富造(5)、樋田並照(1)、藤井宏(2) 【中02】野村幸夫(5) 【高02】伊東正朝(10)、嶋田武男(5)、清水靖夫(5)、本田浩章(2) 【高03】五十嵐孝夫(1)、桐生悠一(5)、小山正直(5) 【高04】田原正顕(10)、仁科和雄(3)、比嘉高(5)、森木伸子(1)、安井昇(1)、吉澤修(1) 【高05】大澤登(1)、斉藤毅(5)、松岡五郎(10)、市川悦子(3)、大橋陽子(1) 【高06】有田二郎(10)、太田毅(2)、鴨田博伸(2)、佐野弘太郎(1)、菅生裕(1)、高橋保孝(1)、永井満(1)、浜野章保(2)、原田清(1)、柚原修(1)、矢島十三子(1)、岩田敦子(2) 【高07】池田実(1)、寺本殷昌(1)、森時孝(5)、永池和子(1)、岩本英子(3)、山本節子(10) 【高08】浅野稠子(10)、野口純正(3)、小美濃道雄(5)、片山隆(5)、二宮靖子(7)、武山誠子(5)、加藤勝(5)、宇田川公子(8)、中山堯(10)、豊島松夫(5)、下千恵(3) 【高09】柚原美智子(1)、石塚安太郎(2)、深町敏夫(5) 【高10】阿部藤子(3)、織田和子(10)、藍原寧(10)、金沢健蔵(3)、田島寛(5)、本橋達朗(10)、柴久美子(3)、池田定之(10)、田所満一(1)、鈴木京子(3) 【高11】柴田紀江(3)、石川紀子(2)、匿名希望(5)、丸山晃央(10) 【高12】阪本桂造(3)、貫井志郎(3)、中沢勲(3)、谷治賢三(4)、小野田敦子(1)、岩片卓雄(5)、塩田順康(3) 【高13】高師昭南(5)、小田洋子(4)、菅原玲子(10)、早川淳(20)、高野尚志(1)、田中昇次(3)、裏田和夫(1)、高津幸一(30)、戸田一誠(5)、西村みどり(1) 【高14】片山朋子(3)、高木登茂子(10)、丸山多江(10)、山本詔子(1)、星野雅子(11)、藤本勝敏(15)、津田信明(1)、藤富正毅(1)、早川希尹子(4) 【高15】佐藤徹太郎(3)、渡辺浩通(1)、水島磐男(4)、高雄良三(2)、久保田繁(5) 【高16】橋元宏(3)、青木光子(4)、田丸洋(5)、丹野晃弘(1)、山本章(2)、丸山俊章(10)、伊藤進(6)、大塚義昭(2)、長谷川忠(1)、飯島信枝(5) 【高17】中山善夫(5)、今村史三(3)、植田俊子(5)、小林昌子(10)、大津徳明(10)、菅原宏夫(5)、堀江悠子(10) 【高18】寺島孝(10)、渡部典子

祝 いずみ会総会

総会に参加しましょう

いずみ会高5期卒業生

一般歯科／小児歯科／歯科口腔外科／在宅訪問(往診)

横田歯科医院

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	／
14:00～18:30	○	○	○	／	○	／	／

公益法人 練馬区歯科医師会会長

横田 惇(高8期)

〒178-0063 練馬区東大泉5-25-3 TEL. 03-3921-4314

中本総合法律事務所

代表 弁護士 中本 攻(高13期)

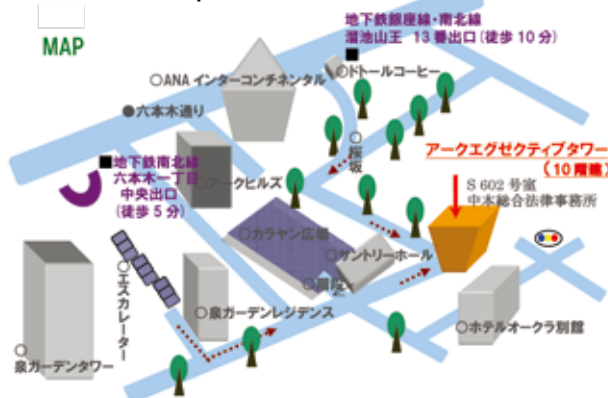
住 所：〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5
アークエグゼクティブタワー S602号室

代表電話：03(3568)7600

ファックス：03(3568)0891

E-mail: osamu.nakamoto@lonkmt.com

U R L: http://lonkmt.com/



(4)、松浦茂樹 (10)、緑川春野 (1)、元崎雅子 (4)、南和子 (2)、蓮沼都 (1)、多田幸典 (1)、新井昭義 (4)、篠木光昭 (15)、青木隆 (10)、直井美喜子 (4)、榊原章人 (6) 【高19】 山本克己 (1)、芹沢謹志 (1)、石塚久仁世 (5)、榎本孝 (3)、高井潔司 (19)、杉田信男 (3)、花見守男 (3) 【高20】 池田練太郎 (1)、内堀真史 (6)、手崎園子 (3)、山口達夫 (5)、和賀井宣孝 (3) 【高21】 伊奈佐和子 (3)、若林和子 (1)、曾我里美 (1)、榊原つが子 (1)、齊藤雅樹 (1)、田川正人 (1)、松岡耕二 (3)、岩城隆就 (1) 【高22】 多賀力 (2)、水谷三枝子 (1)、石井伸夫 (5) 【高23】 林秀明 (1)、高橋敏彦 (10)、保坂勉 (9) 【高24】 鳥本次胤 (8)、森正和 (1) 【高25】 吉富正尚 (7)、上田佳代子 (6)、福田由香 (2)、高橋徹 (1) 【高26】 堀田一郎 (30)、高橋司 (11) 【高27】 関井康彰 (5)、益村典子 (5) 【高28】 山口恭正 (2)、清水義裕 (3)、西澤正博 (15) 【高29】 田辺敬子 (1)、道山幸一 (1) 【高30】 大坪由佳 (1)、浅田奈美子 (2)、大島寛治 (1) 【高31】 池上征志 (5)、矢崎千枝 (1)、松田ひろみ (1) 【高32】 仲沢浩一 (1) 【高33】 細谷力 (1)、古川存彦 (1) 【高39】 池内玲子 (1)

広告掲載にご協力いただいた方

高05期 高5期1同
高08期 横田 惇 横田医院
高08期 岸崎 隆生
高13期 中本 功 中本法律事務所
高13期 田中 昇次 レイセントコンサルティング(株)
高14期 高木 登茂子 高木自動車
高14期 神崎 隆洋 神崎建設会社
高15期 久保田 繁 久保田産婦人科病院
高16期 鈴木 次夫 鈴木クリニック
高18期 築根 吉彦 築根医院
高21期 築根 照英 日産緑化株式会社
高25期 上原 正美 上原歯科医院
高25期 宇多 正行 宇多法律事務所
OB・OG 合唱団

会費納入者一覧(終身会費納入者は赤色)

※赤色は今年度以降会費免除。()内は、複数年会費納入

【高13】 小笠原俊俊、小田洋子、荒川善光、高野尚志、高橋鋼一、平沼誠之、裏田和夫、辻公子、西村みどり 【高14】 杉山博司 (2)、志賀たか子、片山朋子 (2)、丸山多江、山本詔子、星野雅子、多田ひろ子 (2)、清水靖司 (2)、萩原佳明 (2)、藤本勝敏 (2)、白井潔、津田信明 (2)、西村敏行 (2)、舟木宣光 (2)、山本正巳 (2)、早川希尹子、平田晃 (2)、松倉基子 (2) 【高15】 天竺智雄 (3)、石井光子 (3)、増田勝機 (3)、西久保靖彦 (3)、藤高和信 (3)、勝本初江、野原美代子 (3)、小林弓枝 (3)、板橋国臣 (3)、金井極注 (3)、高雄良三 (3)、鴻森和明 (3)、田辺進三 (3)、黒沢道子、鈴木知加子 【高16】 高田進 (4)、新井武久 (4)、篠武夫 (4)、青木光子 (4)、鈴木法子 (4)、稲津由紀子、藤田晴美 (4)、丹野晃弘 (4)、中嶋昭夫 (4)、山本章、伊藤美千代 (2)、篠滋子 (4)、山田善子 (4)、伊藤進 (4)、大塚義昭、長谷川忠 (4)、尾池幸 (3)、笹目勝子 (2) 【高17】 大島喜男 (5)、中井新光 (5)、中里晴彦 (5)、中山善夫 (5)、今村史三 (5)、奥澤泰一 (5)、植田俊子 (5)、高松浩子、岩川兼臣 (5)、中根源彦 (5)、小林昌子 (2)、細井純 (5)、長谷川隆太 (5)、間浩明 (5)、山川一男 (5)、中山智枝 (5)、竹内正 (5)、成田俊彦 (5)、和田正徳 (5) 【高18】 網野三昭 (5)、宗形孝子 (6)、鈴木憲子 (6)、野口勇 (6)、渡部典子 (6)、須澤美智子 (6)、河村博江 (6)、松浦茂樹 (6)、緑川春野 (6)、元崎雅子 (6)、湯川玲子 (3)、大野誠治 (6)、蓮沼都 (6)、設楽公子、島崎瑛子 (6)、田瀬則雄 (2)、多田幸典 (4)、長村英子 (6)、新井昭義 (6)、上原徹 (6)、篠木光昭 (6)、伊藤芳弘 (6)、直井美喜子 (6)、石川秀樹 (6)、榊原章人 (6) 【高19】 櫻井憲二 (7)、山本克己 (7)、平間保枝、小美野広行、芹沢謹志 (7)、佐藤由紀子 (7)、森清啓子 (7)、花満恵美子 (2)、榎本孝 (7)、豊島健、広田敦子 (7)、藤田邦子、大木泰子 (2)、高井潔司、吉田邦夫、兼村麗子 (5)、内田充 (7)、加藤敏夫 (5)、岸本達夫 (7)、正願地高明 (4)、野原剛 (7)、杉田信男 (7)、羽島敏



マネジメントシステム構築 のお手伝いをします

ISO 9001/14001/TS16949/13485/9100

レイセントコンサルティング(株)

〒220-0011 横浜市西区高島2-19-12 横浜スカイビル20F

URL: <http://www.rascentgroup.com>

e-mail: shoji.tanaka@rascentgroup.com

いずみ会 13期 田中昇次

わすれないでつづけよう 復興支援 元気なニッポン取りもどそう



車のことなら何でも

高木自動車代表取締役

高木登茂子 (高14期)

〒353-0001 埼玉県志木市 TEL. 048-473-0039

カンザキ建設 — 本物素材『無垢の木と漆喰の建築』 —

HiNOX

▼本社モデルハウス

現在21版
ベストセラー

(基本編)

ダイヤモンド社刊



現在21版
ベストセラー
続編

(実証編)

ダイヤモンド社刊



基本編の
文庫本

(文庫本)

文藝春秋刊



本社モデルハウス
内覧会のご案内

年中無休

(年末・年始 お盆を除く)

AM10:00~PM6:00

どうぞ、お気軽に
遊びにいらして下さい。

〒167-0035

東京都杉並区今川13-20-5

●資料のご請求はお気軽に。



全国の図書館、および有名書店に有ります。神崎隆洋 著(一級建築士 代表取締役)

神崎建設株式会社 03-3397-1150 www.hinox.net

明 (7)、兼村博 (5)、花見守男 (7)、水山昭徳 (7)、諸沢孝、高梨一樹 (7)、平木秀 (7)、宮原真人 (3)、坪井千代子 (6) 【高20】 依田武男 (7)、三間孝子、千葉知子 (8)、山本光子 (8)、池田練太郎 (4)、小池直行 (7)、高橋初、中川恵、宇川佐知子 (3)、太田珠巳 (8)、藤井律子、神戸和子、松本賀江 (8)、白沢康子 (2)、尾崎彰夫、長沢きみ江 (4)、丸岡恵子、土肥暁美、大川薫 (3)、木村徹、日浅泉、遠藤隆久、瀧島恭子 (3)、田中克子、藤本万里、手崎園子、尾形ますみ、大槻伸一、後藤健二、小林憲一、須沼洋、塚田直樹、登坂薫、並木雄平、脇山潤 (8)、牛尾英明 (3)、神山史朗、小山恵一郎 (8)、田中憲太郎、藤本均、立山香 (2)、島根明子 (3) 【高21】 長谷川昇司 (3)、関根恵美子、伊奈佐和子 (9)、石川敬子 (9)、若林和子 (9)、妹尾和夫 (9)、片柳法子 (9)、加藤武 (8)、村上知子 (9)、中島美紀子 (8)、松本いずみ (7)、北嶋暁子 (5)、勝俣雅子 (9)、曾我里美 (9)、榊原つが子 (9)、森悦子 (9)、奥澤康司 (5)、齊藤雅樹 (9)、藤原保雄 (9)、本橋豊、池上義春 (6)、田川正人 (9)、井上益希 (9)、岩城隆就 (9)、新藤斎 (7)、尾石京子 (3)、小澤雅子 (9)、伴野保志 (3) 【高22】 駒田進 (5)、佐々木哲男 (10)、高橋健一、松倉正雄 (2)、内川清彦 (10)、下垣慎吾、中村知計 (10)、永原幹夫 (10)、小張良一 (2)、原隆弘 (6)、山本哲郎 (10)、川本研 (8)、高橋ゆりあ (3)、永島万代子、佐藤順子 (10)、岡安則、水野昌一 (10)、竹内節子 (10)、杉山真理子、櫻田晴子、

齊藤弘子、福島晴子 (10)、多賀力 (10)、渡辺哲伸、横須賀敬子 (10)、石井栄 (10)、水谷三枝子 (10)、石井伸夫 (10)、岡部純一、古江正 (10)、後藤順子、丸山真理子 (5)、才能久枝 (10)、川本律子 (8)、小林佐江子 【高23】 林秀明 (11)、測田芳孝 (3)、茂木宏、山越亘 (5)、木原強 (2)、寺田晃、菱川雅子 (3)、後藤洋子 (2)、田中かほる (5)、矢部政子、佐藤豊、福島孝雄 (8)、保坂勉 (11)、鈴木真知子 (11)、相馬洋子 (5)、三上百合子 (11) 【高24】 小林健治、鈴木利家 (5)、真柳仁 (3)、鳥本次胤 (12)、大山順子 (12)、小池聡 (11)、佐藤亮介、巽篤子、石坂和香、近藤恵子 (3)、水越千恵子 (2)、小林玲子 (12)、松枝亜津子 (12)、石原信和、森正和 (12)、田中成子、安田容子 (9)、高橋秀年 (2) 【高25】 田川祥一郎、橋英夫 (13)、安藤徳三 (13)、小林明 (5)、山口俊一 (13)、佐倉弘持 (2)、後藤博一 (13)、飯島一彦、吉村優子 (13)、白方操 (2)、島野裕美 (11)、中川桂 (2)、桑川京子、上田佳代子 (4)、貴村克己 (13)、市田直子 (3)、福田由香 (13)、平野みゆき (3)、見城伸子 (11)、高橋徹 【高26】 上野和彦 (14)、岡田稔 (6)、小原佳子 (9)、都丸悦孝、和保恵子 (4)、小堀宏 (4)、平野弘道、藤本ゆみ (14)、木村武彦 (10)、眞後節子、依田直子 (4)、高橋司 (14)、大久保雅史、小林泰子 (3) 【高27】 関井康彰 (15)、東晃夫 (5)、荒賀康徳、飯田良弘 (5)、猪又英夫、大久保高秀、高松孝光、楠智仁 (15)、下田育代 (15)、渡辺真有美、松原繁子 (5)、楠

西武池袋線「練馬駅」北口下車3分

鈴木クリニック

○内科 ○小児科 ○胃腸科

都立大泉高校内科校医 鈴木次夫 (高16期)

〒176-0001 東京都練馬区練馬1-27-1

TEL. 03-3991-1581

♪ 貴方も一緒に歌いませんか ♪

大泉高校OB・OG合唱団

●練習 月2回 金18:00～20:00

●会費 月1,000円位

●場所 勤労福祉会館(大泉)

連絡先 小熊坂満邦(8期)

Tel & Fax. 03-3929-4450



産科・婦人科・不妊相談

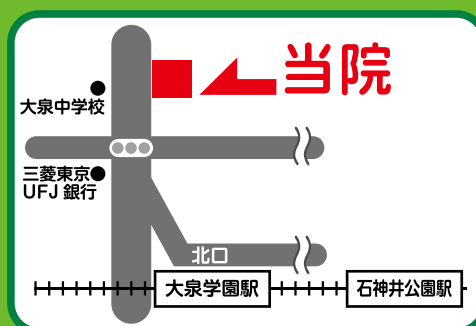
救急指定

母体保護法指定

医療法人社団

久保田産婦人科病院

小児科(月・水・金)PM2:00～3:30 大泉学園駅北口徒歩5分

TEL 03-3922-0262 <http://kubota-hosp.jp/>

築根クリニック内科・放射線科

〒177-0053 東京都練馬区関町東1-22-11

院長 築根吉彦 (高18期 野球部)

診療時間 9:00～12:30 15:30～19:00
(土曜日 9:00～13:00)

休診日 水曜日、土曜日午後、日曜日、祝日

TEL. 03-3928-7868

駐車場あり
各種保険取扱
最新型X線テレビ・
マルチヘリカルCT等
設備

都市を緑に 緑溢れるエコ社会

日産緑化株式会社

<http://www.nissanryokka.co.jp>

取締役社長 築根照英 (高21期 剣道部)

造園・土木工事、屋上緑化・壁面緑化、緑のカテナビホーフ、個人邸の庭、エクステリア、ガーデニング 資材販売等

本社：〒101-0047 東京都千代田区内神田3-16-9 ☎03-3256-4031

支店：東京(北区)、多摩(八王子市)、千葉(千葉市)

埼玉(久喜市)、名古屋(名古屋市)、大阪(堺市)

悦子 (15)、印南明彦、松井正憲 (15)、木内裕、小原沢啓子 (15)、柴田真弓 (4) 【高28】 城口直人 (3)、中野栄一 (5)、太田信宏、平井優 (15)、山口恭正 (8)、中村喜江、木元弘 (5)、宮田芳行 (16)、永井直子 (2)、高水英寿 (16)、堂山愛生 (16)、阿部恵里子 (3)、渡辺昌江 (16)、岡本真幸 (16)、鈴木亮 (2)、伊能圭子、田中大介 (15) 【高29】 加藤健次、吉岡幹夫、垣花千春、鈴木悦子、鈴木研欽 (17)、野口起正 (3)、谷嶋牧夫 (4)、岩重明子 (5)、蟹江慶子、田辺敬子 (17)、大久保靖、道山幸一 (17)、中村美智恵、西村久美子 (5)、岩重佳治 (5)、大久保小舟、杉山正樹、尾首容子 【高30】 浅田奈美子 (18)、高島朗、滝沢清児、嶋田久美子、平尾裕子 (11)、船津毅、大島寛治、薦田均 (18) 【高31】 尾崎一、谷口 真弓 (19)、成瀬和子 (5)、池上征志 (5)、西村裕美 (2)、越智素子 (19)、玉虫葉子、松田ひろみ (19)、伊藤正秀、別府洋子 【高32】 佐々木道人 (20)、石川研一、井野悟 (2)、小島さゆり (20)、木原京美、森谷幸、山崎晴規 (3)、西本英人 (20)、奥野直美、服部文子 (10)、武田雅雄、西原恵子 (3)、藤倉彰夫 (18)、星典子、藤井珠実、三海裕子 (5) 【高33】 荒井真弓 (10)、福原紅実 (2)、寺田勉 (2)、練馬 洋、近藤直子 (3)、重松江梨、小曾根達悦 (5)、細谷力 (21)、片山成美、塩崎裕子 (3)、竹内裕子、古川存彦、名原智佐子 【高34】 木村智寿、中井洋明 (8)、木村伸子 (10)、星裕文 (5)、磯田丈弘 (21)、井上雅之、横田穰 (22)、萩原久美子

(22)、桜庭憲治 (3)、礪波英樹、大野理恵 【高35】 佐藤雅一、島貴史、盛弘之 (5)、西入寛子 (5)、三好智里、村田美生 (3)、吉田優子、中小路淳美 (18)、馬場靖代、鈴木啓順、田崎久美子 (3) 【高36】 森川希依子、関矢真理子、高砂民宣 (5)、熊谷直人 (22)、山田公城、佐藤直子、沼田伊里 【高37】 松井ひとみ、栗原千春、柴田寛人 (3)、房野成実 (10)、横田理彦 【高38】 三好知美、仁平敦子、堀口陽子、森谷修、門倉由紀子、北川加世子、熊谷淳、北川晋、山本栄夫 (7) 【高39】 斎藤昌孝 (5)、小曾根史代 (5)、池内玲子 【高40】 阿部律子、熊崎義紀、山村哲 【高41】 浅井祥行、藤井美穂 (29)、森村尚也、山村泰三 【高42】 森山法人、井上理香 (2)、井尊智 (6)、金子成雄 (30) 【高43】 伊藤志珠 (2)、大野哲平、本間寛之、本間ルノワ 【高44】 本間紀子、梅森十三 (10)、土田久美子 (3) 【高45】 山口恵里、木戸貴光 (3) 【高46】 前田将多 (3) 【高47】 清水千映子 【高48】 大野太郎、江野沢英穂 (36) 【高49】 増子憲太郎、溝口洋平、成田幸代、筒井弘子 (37)、川崎大輔 (5) 【高50】 植村直人 (6) 【高51】 前田龍哉、矢吹里沙 (3)、小松さき代、宮前充代 (5) 【高52】 斎藤未帆、今井裕理子 (10) 【高53】 本山浩之、余湖直紀 (41) 【高54】 江澤隆行 (10)、深田桃宏 (3)、鹿島朋子 (10)

小児歯科／矯正歯科／歯科一般

上原歯科医院

日本歯科大学附属病院 臨床教授／小児歯科専門医

歯学博士 上原正美 (高26期)

〒176-0012 東京都練馬区豊玉北6-16-17-2階

(練馬区役所西庁舎南入口正面)

TEL. 03-3557-1180 <http://www.uehara-shikaiin.com/>

売買代金・請負代金等の金銭問題／交通事故等の損害賠償／不動産取引・登記・借地・借家等不動産／相続・親族問題／破産申立等倒産処理／その他民事一般

宇多法律事務所

弁護士 宇多正行 (高25期)

〒162-0801 東京都新宿区山吹町261番地 トリオタワーノース5階

TEL. 03-6675-3184 FAX. 03-6675-9552

E-mail att-uda@eos.ocn.ne.jp

会報いずみの広告について

【掲載料金】

- ・基本料金: 1/10ページ 15,000円
- ・レイアウト料: お任せなら 無料
- ・レイアウト料: 指定 1/10ページ 7,500円
- ・地図作成: 1件 7,500円

【申し込み先】

いずみ会 荒井真理子

Fax: 042-974-2045 Mail: marikohawfinch@ybb.ne.jp

(サンプル1)



広告料 15,000円(1/10ページ)

デザイン料 無料

※ 実際の掲載はすべてカラーです。
いずみ会ホームページをご参照ください。

(サンプル2)



広告料 30,000円(2/10ページ)

デザイン料 0円

地図作成料 7,500円

(サンプル3)



広告料(6/10ページ)

90,000円

地図作成料

7,500円

デザイン料

45,000円

高12期(昭和35年卒)同期会のお知らせ

日時：平成25年10月12日(土)

場所：13:00～石神井公園散策・16:30～中野サンプラザ

会費：6,000円

ご案内は別途往復はがきにて。

幹事：板橋 042-468-1563 ita-aki@jcom.home.ne.jp

平成19年から毎年同期会を開催しています。この数年ウイークデイが続いていましたが、今年は土曜日です。新しい人が出席してくれるのではないかと期待しています。

今年は懐かしの石神井公園散策を企画しました。すっかり整備されて、雰囲気が変わっていますが、仲間との楽しく、あるいはほろ苦い思い出もあるかもしれません石神井公園を三々五々歩いてみませんか。第2部のパーティは午後4時30分から7時まで「中野サンプラザ」にて。

昨年は恩師2人のご出席を頂き、約50名が集まりました。写真はその時のスナップです。



サークル活動

古典文学講座

1月～11月(8月休講) 第4木曜日 10:00～12:00 樗さろん
講 師 大軒史子さん(高9期)
題 材 おくの細道

英語講座

毎月第2火曜日 10:00～12:00 いずみ会室
講 師 広瀬芳子さん(高11期)
テーマ ヘンリーⅧとその后たち

囲碁

毎月第3水曜日 13:00～17:00 いずみ会室
代 表 田島寛さん(高10期)

健康麻雀教室

毎月第1・第3火曜日 12:00～17:00 いずみ会室
代 表 青山喜彦さん(高5期)

健康麻雀教室レディースデー

毎月第2・第4金曜日 12:00～17:00 いずみ会室
代 表 青山喜彦さん(高5期)

茶道教室～茶の湯～

毎月第2月曜日・第4木曜日 14:00～16:00 樗さろん
指 導 本道操子さん(高7期)

総務・企画部よりお知らせ

● 来年は「4の会」です。

期の一の位が「4」の皆様、来年度は「4の会」として母校文化祭、いずみ会総会・懇親会でご活躍いただくことになります。今年度10月27日の「3の会」による総会・懇親会へお出まじいただき、様子を把握していただき、来年度「4の会」へのご準備をよろしくお願いいたします。

● 同期会開催応援

期幹事の皆様、いずみ会では同期会開催のお手伝いをいたします。宛名ラベル、名札作成、名札入れのご用意。期の皆様へのお知らせを会報、webページへ掲載。校歌、校友の歌のメディア貸し出し等のサービスを提供しております。詳しくはいずみ会連絡窓口まで。

● 駅前いずみ会室ご利用は…

ご利用ご希望の方は、

e-Mail: izumikai@v7.com または

FAX: 042-974-2045 へ

①利用希望日時 ②団体名 ③「利用責任者 期・氏名・連絡先」を明記してお申し込みください。

● いずみ会文庫

皆様の著作等、いずみ会へご寄付いただける場合にはお手数ですが、いずみ会連絡窓口(担当理事：田村明子・高19期)迄ご連絡をお願いいたします。担当者より改めてご連絡を差し上げます。

● 60周年記念名簿

在庫少々あり。ご購入は会報同封の振込用紙該当欄にてお申し込みください。(一冊3,000円)

いずみ会連絡窓口

ご意見、ご感想、住所変更、いずみ会室利用申込み、サークル問い合わせ等いずみ会へのご連絡は下記までお願いいたします。

〒178-0063

練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号

e-Mail: izumikai@v7.com FAX: 03-3925-1486

総務・企画部長 荒井真理子(高20期)

編集後記

会報57号お届けします。今回も会員皆様の「力」の結集で素晴らしい会報が出来上がったと自負しています。これからも皆様の声どんどんお聞かせ下さい。

昨年に引き続き広告掲載にご協力いただいた方々には心よりお礼申し上げます。

社会人講話・キャリア教育・英語特別講座など講師の方々の貴重な話を伺う事ができたのは役得? 猛暑の中ご尽力下さりありがとうございました。

広報部会報班

二宮靖子(8)・森田陸四郎(15)・荒井真理子(20)・福井陽一(20)・小林憲一(20)・植村久(21)

10月27日(日)いずみ会総会・懇親会のご案内

いままでも3Q／これからも3Q —感動の気持ちで

現在校庭の工事が進んでいます。11月には完成予定の進行形の校庭と校舎の並び立つ姿をご覧になりながら、往時の姿もまた懐かしく思い出し話に花を咲かせてください。

と き	2013年10月27日(日)
ところ	総 会：母校3階視聴覚ホール 13時15分～14時00分(受付開始12時30分) 懇親会：母校1階食堂 14時15分～16時15分
会 費	2,000円(ただし59期～65期は1,000円)

ご出欠その他の連絡は会報同封のハガキにて10月15日までにご返送ください。

今年は「3」のつく期の皆さんによる「3の会」が担当させていただきます。「3の会」にちなんでサンキューのスローガンで企画運営をいたします。

顧みますれば、今、自分たちが元気でいられるのも、産んでくれた両親、大泉高校をはじめ良き教育で導いていただいた学校の先生方、社会に出て活動できたのも諸先輩、同僚、後輩の人たちのお陰であります。今までも3Q。またこれからもお世話になりますのでよろしくお願い申し上げますの3Qです。スローガンの通り感謝の気持ちで奉仕させていただきます。母校を訪ねたり、同期と会うのも久しぶりの方もいらっしゃるでしょう。年に一度の総会・懇親会です。同期会・クラス会も兼ねて存分にお楽しみいただきたいと思います。

また文化祭にて8期の片山隆さんにはサークル活動まんぽ会を題材にした絵画の展示、同じく8期の橋本玲子さんには数あるコレクションの中から西武池袋線を中心にした珍しい・思い出の切符の展示でご協力いただきました。懇親会でもお二人のご協力を得て、これらを展示し、広く皆様に楽しんでいただこうと思っております。このほかアトラクションも考えておりますので、どうぞお楽しみに!!

いずみ会会長 高津幸一(高13期)

「3の会」会長 笠原孝之(高13期)



現在整備中のグラウンド。総会のところにはほとんど完成しているはず。ご期待下さい。